YOUNG KING COMICS
散人左道
さんじんさどう
2
水上悟志
SATOSHI MIZUKAMI PRESENTS

第十一話
ヒバチといろり(前編)

どうなってんだ…
なんで子供が来てる？
ざわ
ざわ
ざわ
オイ？
石川先生に頼んだんじゃないのか？

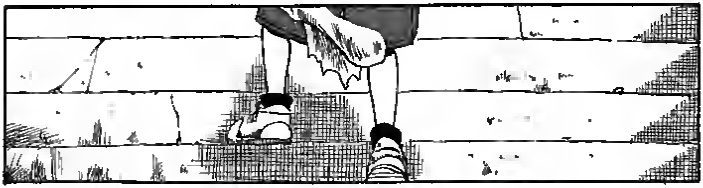
石川尽正の代理でヒバチと云います
イラ
イラ
イラ
依頼の遂行に問題はありませんのでおかまいなく

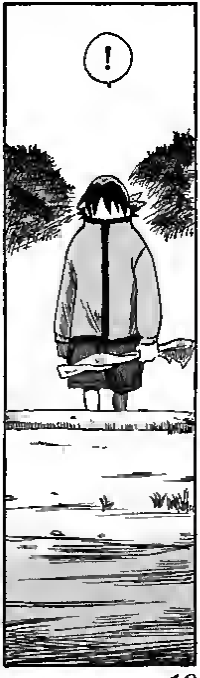
ざわざわ
石川先生は…？
もっかい連絡を
新しいのがいれば
大丈夫 キミこれはあるやつじゃないんだよ

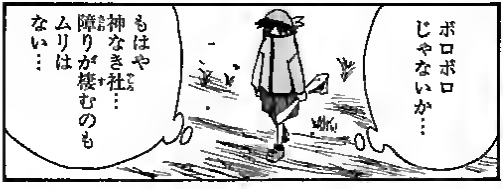
子供を狙う陣(じん)りか…

おねがい！
おにーちゃん
助けて！
さらわれ
たんだ！
たけし！
えーと…
ヒバチくん？
悪いが
ひきとって
くれないか
危な…
ご心配なく
待ってろ
必ず助けて
やるからな
ザッ
キャン
！
おい
待っ…

どうする？
行っちまったぞ…
どうするったって…




！


ボロボロじゃないか…
もはや神なき社…障りが棲むのもムリはない…

子供!?
なんでここに…
おいここは危険だぞ
帰…
…
あなただって子供じゃない
おっ
おれはいーんだ！障り退治で来てるんだから！
何それ？
悪いバケモノさ
ここらをウロついてるんだ
ふーん

ふーん て！
すっごい怖い怪物なんだぞ!!
危ないんだって！
怖いなら帰ったら？
あー!!
うんが
ふっ
ぐ！
あーもう
だん
だからっ…
ぶっ
くっく…
……!?
あはははははっ
ごっごめん
あんまりスナオにムキになるものだから…
……

退魔師や
拝み屋が
何人もやられて
るんだ
ざわ
ざわ
やはり
石川先生
じゃないと…
しかし
連絡が…
このままじゃ
あの子供
まで!
……
……
家出ぇ?
そう だから
帰れって云われても
帰れないわ

なんだ
それは…
家の人に心配を
かけさせるだけ
だろ？
楽しいのか？
楽しい!?
あんたなんかに
私の気持ちは
わからないわ
それに！
父さんは 私の
心配なんか
しないわよ
母親は？
私と
父さんを
捨てて
出てったわ
生きてれば母親とも
また会えるし
父親とも暮らしていれば
いつか わかりあえる
一体 何が
不満なんだ

軽々しく云わな…
おれは幼い頃両親を亡くし
石川尽正という拝み屋に育てられた
師匠とは血のつながりはないが 本当の親のように心配してくれる
……
だから何よ?
おまえの父親もすごく心配してるはずだ
よっ余計なお世話よ!!
もうほっといて!!
帰りづらいなら 家まで送っ…
ッ!!
ジャリ

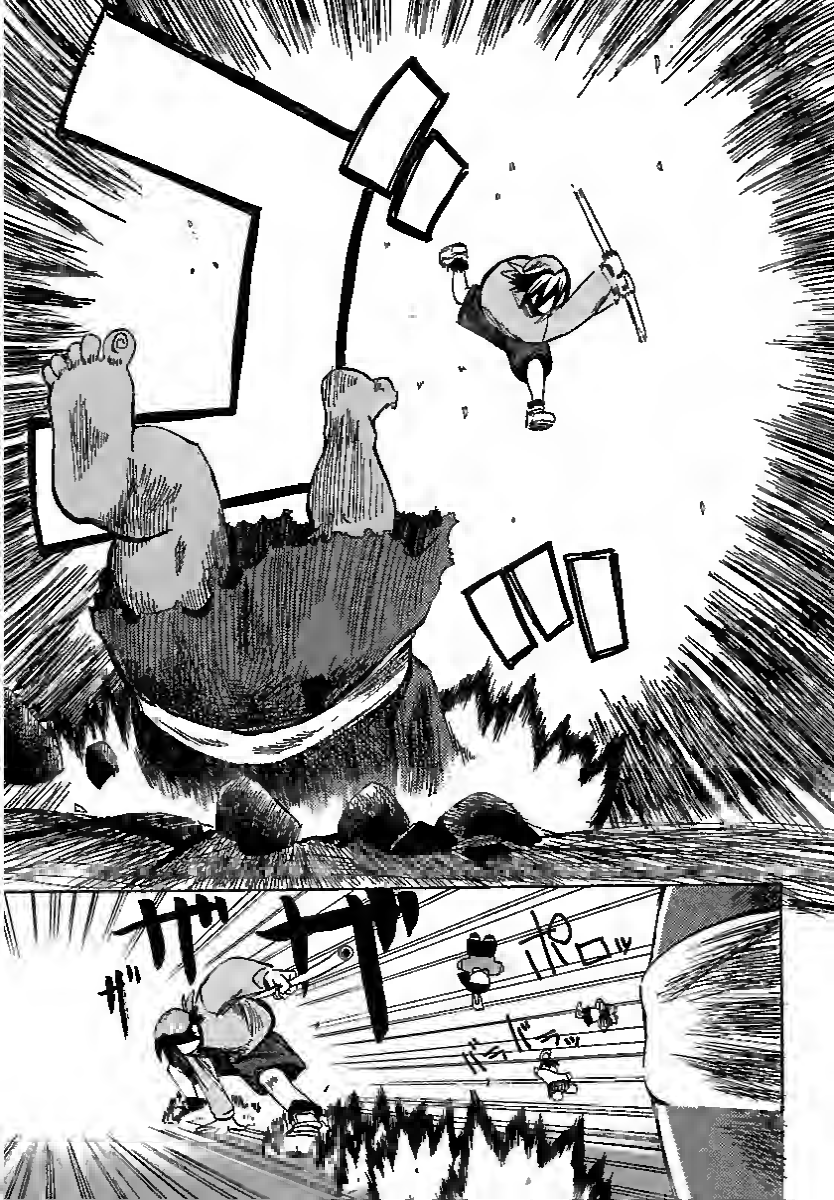
おお
おお
子供じゃ
子供じゃ
めんこいのう
めんこいのう
カカカカカ
!!
こいつか…!!
さらった
子供達を
返して
もらうぞ!!
伏霊杵(ふくれいしょ)!!
あれが
「悪いバケモノ」?
倒せそう?
お望みと
あらばな…
御主人様(マスター)

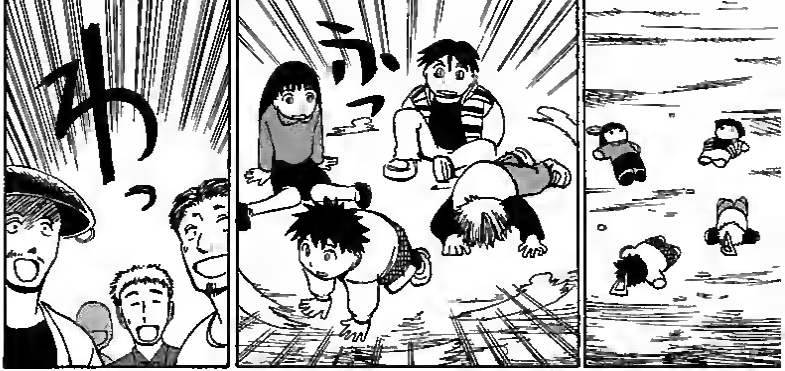
待てっ!!
ドドドドドン

バケモノめ!
この土地で
これ以上
子供に
手は出さ
せないぞ!!

まずい!
ドン
うるさい
のう…
ズン

ボ!!
伏霊杵奥儀
乾坤点!!!


ポロッ
バラバラッ


わっ
わっ

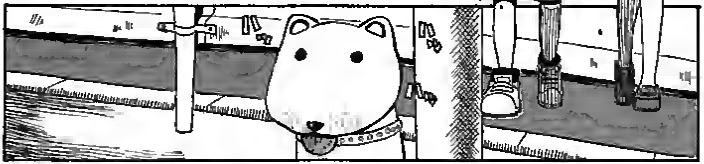
すご……
ほう…

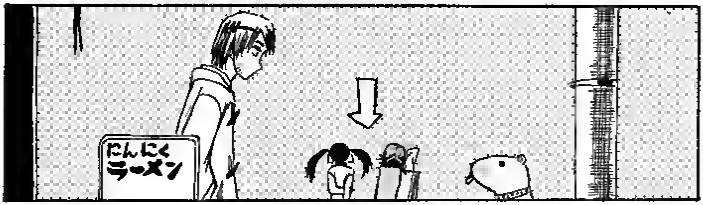
ひろし
ケイ
とーちん
沢ヰ
ぺんぺん

ありがとう
ありがとう
なんて
お礼をしたら
いいか…
はぶー
スッキリ
いえいえ
やっぱ
叫んでこその
必殺技
だよなー…

さてと
ほら
家まで送る
から
行こうぜ
…あ……
うん
うん……

にんにく
ラン
まいどありーっ
！


ハッ
ハッ
ハッ


にんにく
ラーメン

くらえ
犬ッコロ！
にんにく
ブレス！
ぶはー

キャイン!!
ウーーー…
バッ!!
ギャーー!!
ガブッ
なたなた
気付いていない

第十二話
ヒバチといろり(中編)

ここか？
アカイ家…
うん…
雲井
雲井
……
どうした？

父さん…
どう思うだろ
私…家出
なんてして
そりゃあ…
まぁ とりあえず
おこられる
だろうな
そっか…
おこられるか…
あのさ 自分んち
なんだからインターホン
押すことないんじゃ
ないか
え?
あぅん
……
いや
でも…
ブロロロ
キキッ
!
お父さん!

ああの私…
キミの娘さんか？
違いますよ
先生まさか隠し子…
バカ云うな
えっ
ちょっ…父さん!?
!?
先生
ああ
父さ…
悪いがおじさん達は忙しくてね失礼するよ
おっ おい！待てよ
あんた自分の娘を忘れ…

私に子供はいない

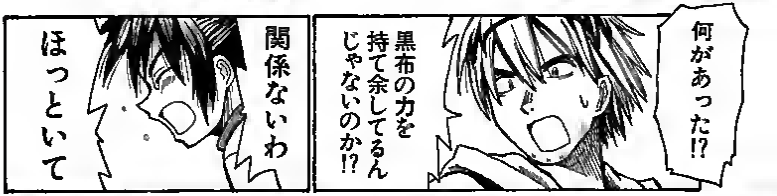
な…！
ふらっ
！
……
だっ
なんだったんでしょうねあの子達…
さあ…？
だだだだ
……

待てよ
落ち着けって！
こないでっ！
!!!
な!?

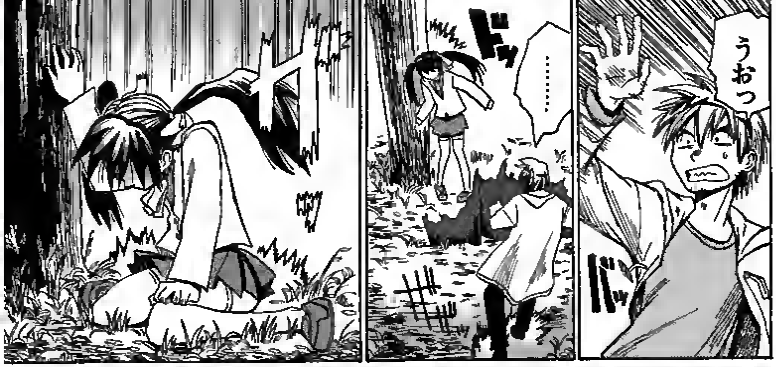
なんだあれ？
ざわ
ざわ
馬？
女の子だ
!!
だん
っ……!!

……
ザッ
よっ
縁だな
こんな所で
会うとは
思わなかった
!!
涙…!?
どうした!?

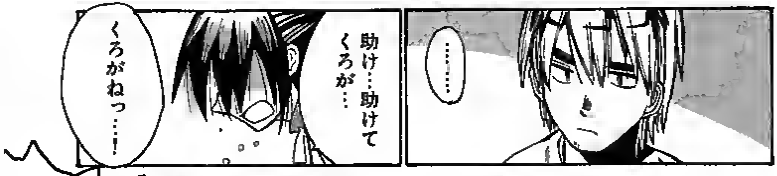
ちょ…
待った
やっ…


何があった!?
黒布の力を持て余してるんじゃないのか!?
関係ないわ
ほっといて

この置物はかつて隣人を数十年に渡り封じ続け
大量の霊気を受け入れる性質を得た霊器(うつわ)だ
そうもいかん!
こいつに黒布を封じる!
その力は子供が持つには強大すぎる!キケンなんだ!

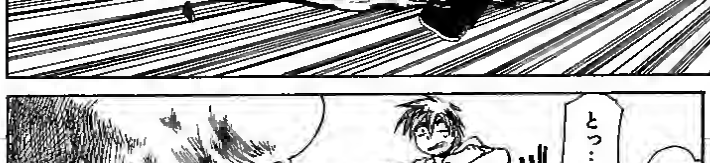

うおっ
バッ
……
ドッ

もう…もうやめて
私 欲しいものなんてないわ
だから これ以上うばわないで…
なんで…なんで私
こんな…
こんな目…


助け…助けて
くろが…
くろがねっ…!
……

左道ォオ!!
くろがね…?
…!!
まさか…
黒布に名を…!?

おお!!?


とっ……
ザッ

い!?
ヒバチ!?
左道ッ!!

立てるか？
うん…
よし
行け
えっ
ここは
おれに
まかせろ
……
ざ、
あっ
おいっ!!

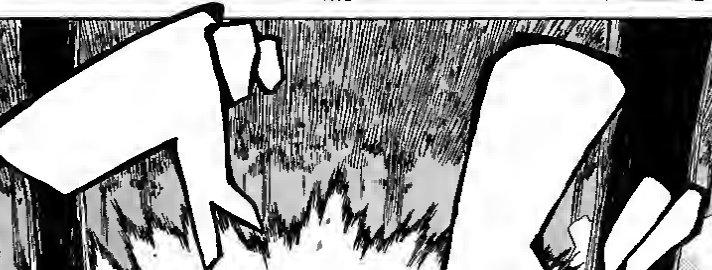
！
通さん!!
キサマが悪いってことぐらいはわかる!!
おまえな!! 事情知らねーで出てくんなよ!!
ぬあ!!
何おこんのくそがきゃ!!
女の子一人を追いつめるのに家族にあんな術をかけやがって!!
見損なったぞ!!
術だ？
なんのことだそりゃ!?
知らばっくれるか…
邪仙！

わけわからんこと云うなっ
いーから どけっ小僧!!
小僧と
云うなっ!!
ち…!
しゃーねえや 丁度おまえにも用があった所だしな…
遊んでやるぜ
以前と同じと思うなよ…!!
ふん! さらに力はつけたようだがな
コイツ… よく修行してやがる…!! 霊力は完全に おれより上だろうな
その 相っ変わらずの ガチガチ頭…!!

第十二話／完

第十三話
ヒバチといろり(後編)

おおおおおッッ


此ノ剋ノ彼
此ノ剋ノ彼
此ノ剋ノ彼

ドゥッ
ガッ
!
ドドドドドド
……

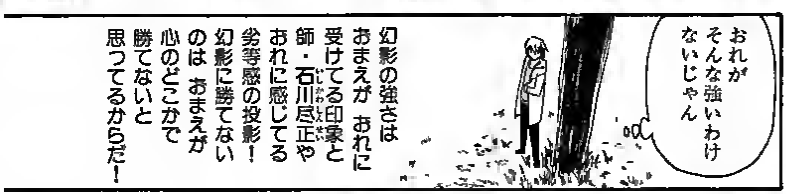
……
いろいろ
どこへ行くうてんだ
行くとこなんてないだろ
それより 戻ってフブキを倒そう
その後はおまえの父親も消そうぜ
おれたちは否定されたんだ
存在を否定されたら相手を否定し返さなきゃ自分を肯定できないだろ

復讐するんだ
そのための
"力"はあるんだ

くろがね……

ドン
ドン
ぐッ…
はあ はあ
強い…!!
攻撃が全て外される…!!
まるで…
師匠と闘ってるようだ……!!!

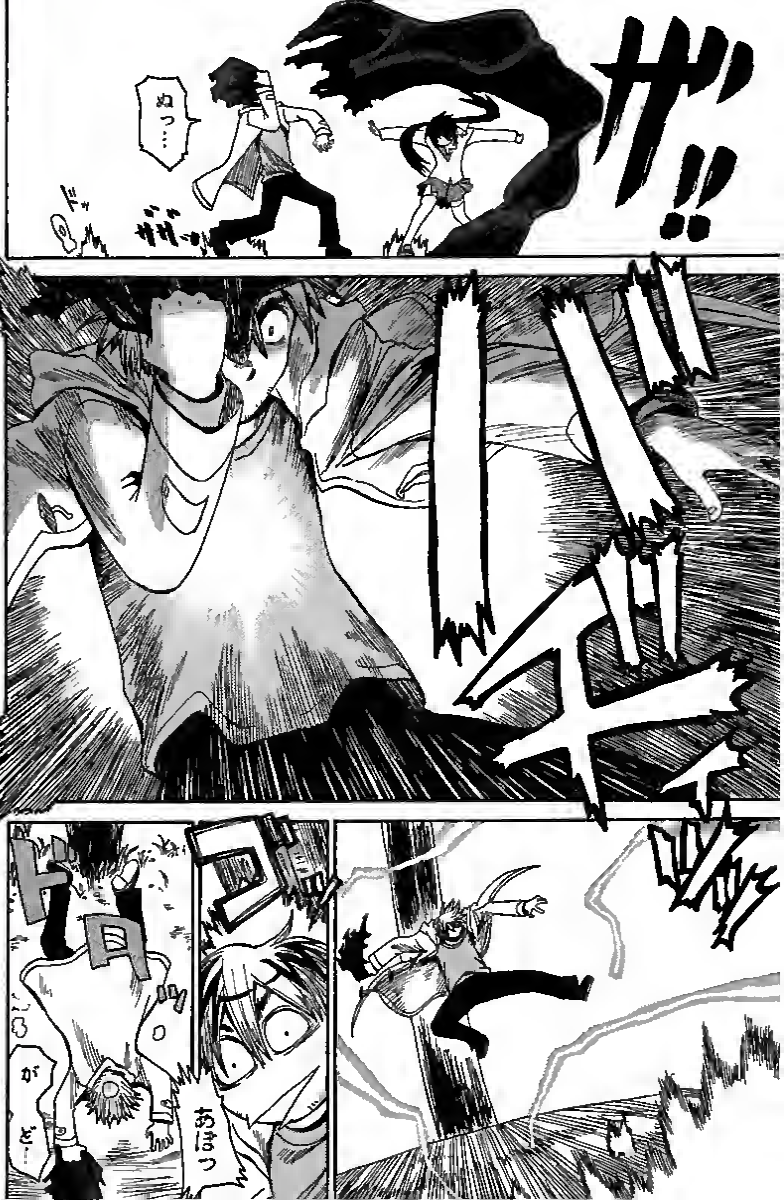
ば――か
幻術だよ


おれが
そんな強いわけ
ないじゃん
幻影の強さは
おまえが おれに
受けてる印象と
師・石川尽正や
おれに感じてる
劣等感の投影！
幻影に勝てない
のは おまえが
心のどこかで
勝てないと
思ってるからだ！

だから
今のその状況を
納得して
受け入れてしまう
そんなおまえに
幻術は破れん!!
単細胞め
！

雲井いろり…!?
うっ
ヌラ…
くそ!!
やっぱ
「呑まれ」てん
じゃねーか!!

ヒュ
わ
ぶ
ズバッ
あだっ!!


ザ!!
ぬっ…
ドッ
ガ
ドロ
あぼっ
が
ど…

ち…
ﾌｫｰﾝ
なんて弱さだ！
忌々しい…!!
あばばばっ
だが…
これで終りだ
やっと…生みの親から解放される時が来たのだ!!
(キサマ)
はあ
はあ
くそ

ガッ
!
……く!
フッ
あっ
……え!?
消えた……!?
!
キズがない…
……
幻術……!
……くそ…
未熟……!!

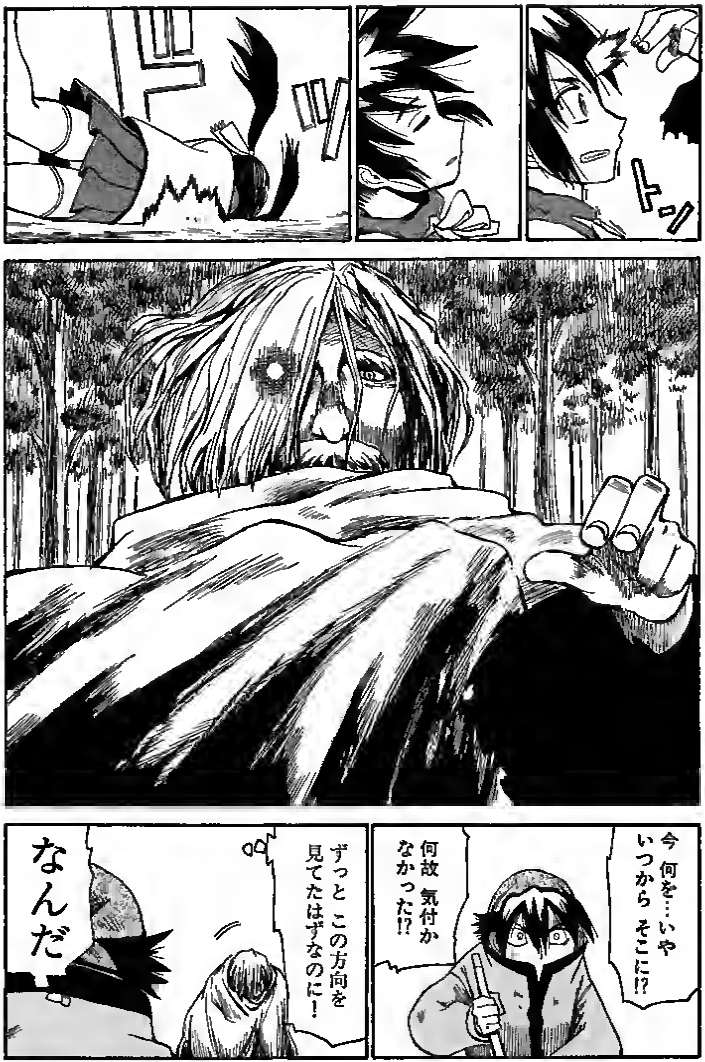
しかし 何故(なぜ) 解けた!?
ヤツは どこに…

!!

待った!
あ?
なんだ おまえか
何をする つもりだ
まさか…

頭を砕くか 胴をちぎるか 悩んでました
どっちが いいと 思うよ?
やめろ!
殺すのは だめだ!!

すっこんでろ
ぐ…
ザッ
ガくっ
……!!
なんだ…結構やるかと思ったのに
意外と大したことな……
このカ…!
あの人格…!!
あの黒術が操っていろ!
のか?
左道はあれを追って……!?


ドン
トン
今何を…いや
いつから そこに!?
何故 気付か
なかった!?
ずっと この方向を
見てたはずなのに!
なんだ

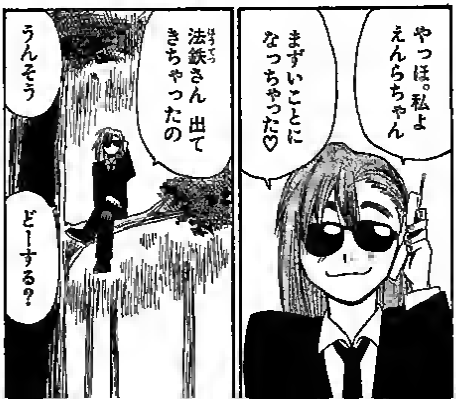
なんなんだ
この老人!?
ヒュッ
ザッ
まっ
待て!!
!
……
なんだ
あ…あんた
何者だ!?
その子を
どうする
つもりなんだ!!
キミには
関係の
ない
ことだ
この件は
忘れるが
いい
……!!

大人共!!
なんで いつも そう勝手で 頭ごなしなんだ!!
その子は 渡さない
おれが
おれが 守る!!!

でかい口は
それに見合う
実力をつけてから
叩くんだな
何もできん
くせに
威張るな
!
ガッ
小僧!!
ヤロウ!
ガく
あぐっ…!
カラ
……
父さん…
どう思うだろ
私…家出
なんてして

そっか……
怒られるか……
……
うおおおおお

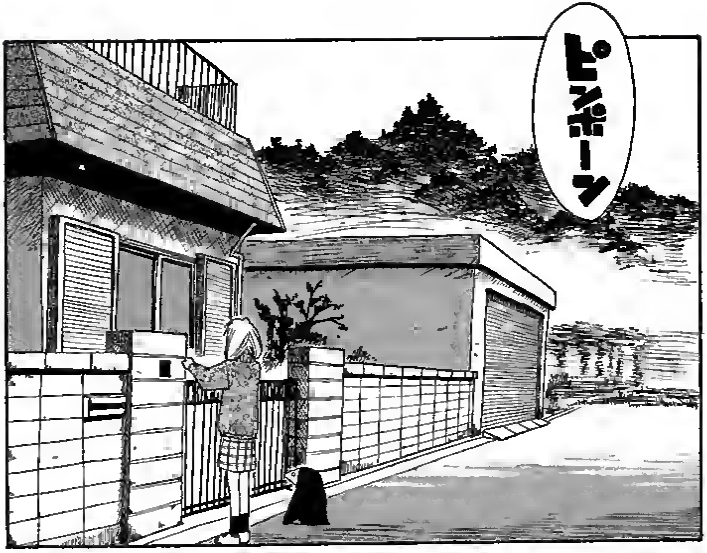
プルルルルル


やっほ。私よ
えんらちゃん
まずいことになっちゃった♡
法鉄さん 出てきちゃったの
うんそう
どーする？

……

第十三話／完

第十四話　下駄の精

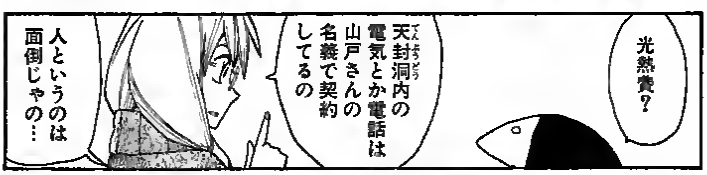

ピンポーン

はい
どなた？
ガチャ

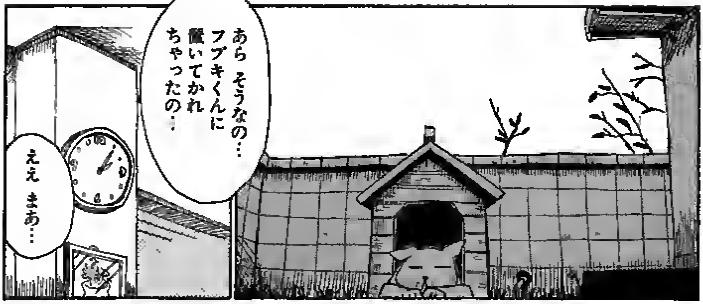
はじめまして
山戸さん
私たち
孫硯さまの
使いで…
まあ！
新しい
お弟子さんね
お入りなさい

それにしても
今度のお弟子さんは
ずいぶん
可愛らしいのねえー
よると
云いますが
この子は…
四海封酔禅
と申す
っていうか
ペン太くんです
……

これを
預ってきました
光熱費等
その他の
経費です
すっ
あら
ご苦労さま

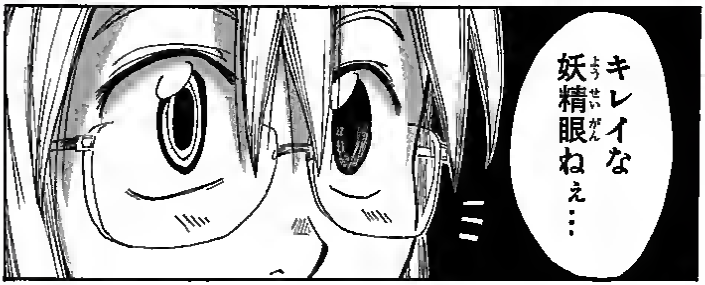

光熱費?
天封洞内の
電気とか電話は
山戸さんの
名義で契約
してるの
人というのは
面倒じゃの…

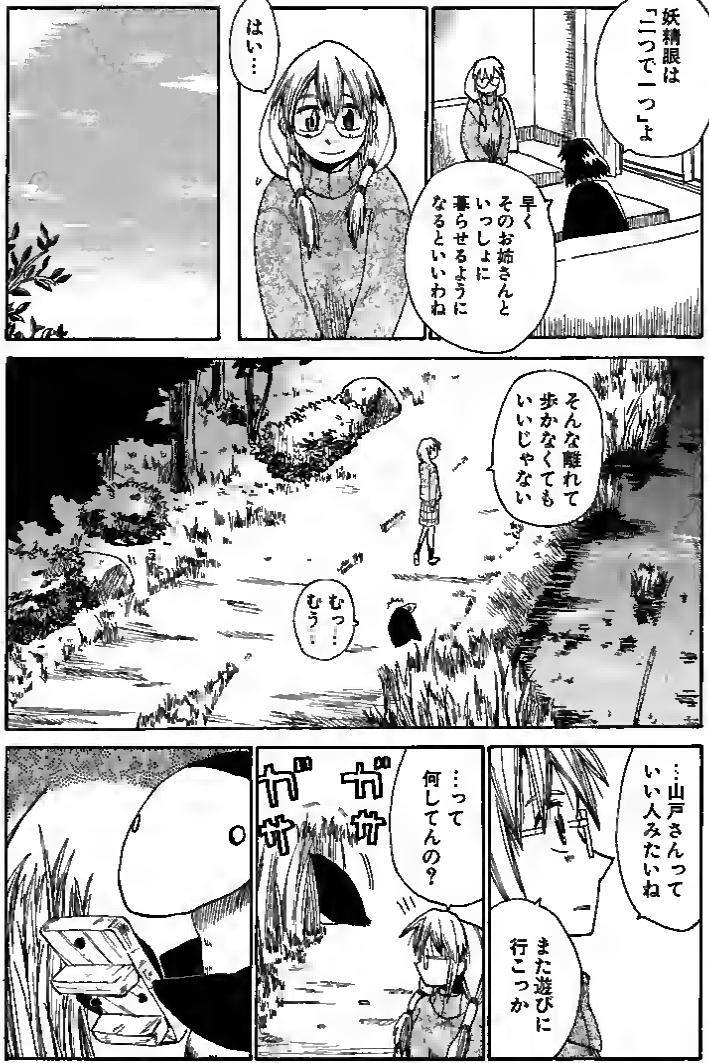
そ 面倒なのよ
だから山戸家が
架け橋になるの
山戸とは
山という異界の
門戸って意味でね
山戸家は代々
孫視さまに
人間社会への窓口役
として仕えてるのよ


あら そうなの…
フブキくんに
懐いてかれ
ちゃったの…
ええ まあ…

フブキくんのこと
怒ってる?
いえ
気にして
ませんから
毛ほども
みじんも
カチャ

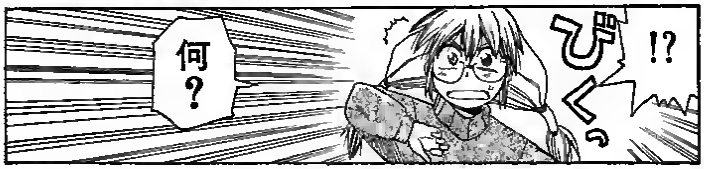
そう?
よかった…
それにしても
あなた…


キレイな
妖精眼ねぇ…

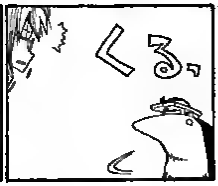

妖精眼は「二つで一つ」よ
早くそのお姉さんといっしょに暮らせるようになるといいわね
はい…
そんな離れて歩かなくてもいいじゃない
むっ…むう…
…山戸さんっていい人みたいね
また遊びに行こっか
…って何してんの？
ガガガガ

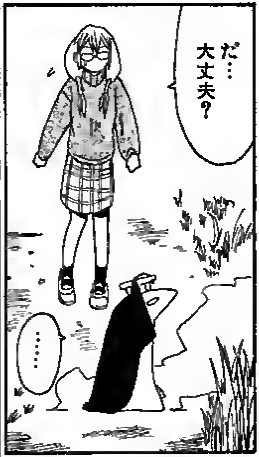
ハバ
キッ

なに下駄なんか拾って…
いや…ふと呼ばれたような気がし…


何？
びくっ
!?

こんにちは
こ
こんにちは
ペコ


くる


だ…大丈夫？
……

私はこの沼に打ち捨てられた下駄の精です
このたびは仙女さまにお願いがありましてこの水妖の身を拝借しました

下駄の精？
水妖って…ペン太くんのことかしら

ああ 取り憑かれちゃったわけね…

って 仙女さまって私のこと？

奴隷が取り憑かれるってどうよそれ

この下駄めの片割れを探していただけないでしょうか？

打ち捨てられたときには左右いっしょでした

しかし私が器物霊（つくもがみ）として目覚めたときには右のヤツめがそばにおらず…

土下座

ぽろぽろぽろ

べたっ

主なくともたえられますしかし われら履きものは左右そろってこその…

うっうううっうう…

わ わかったから泣かないで

探したげるからね？

かたじけのうございます

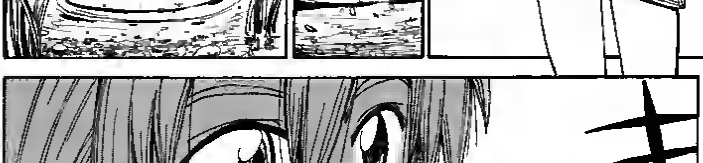
そのかわり見つかったらペン太くん解放するのよ

はい

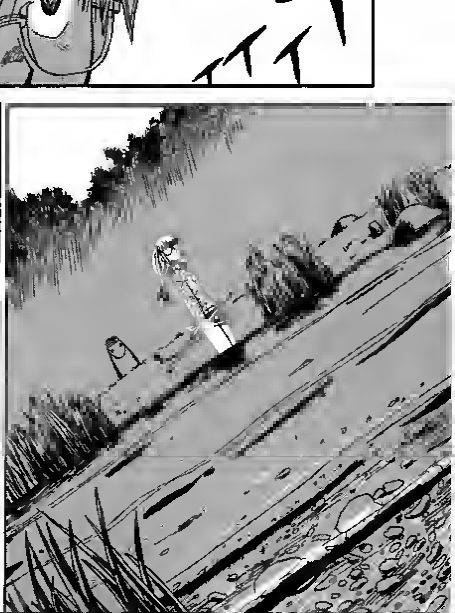
はーー

めんどくさ…

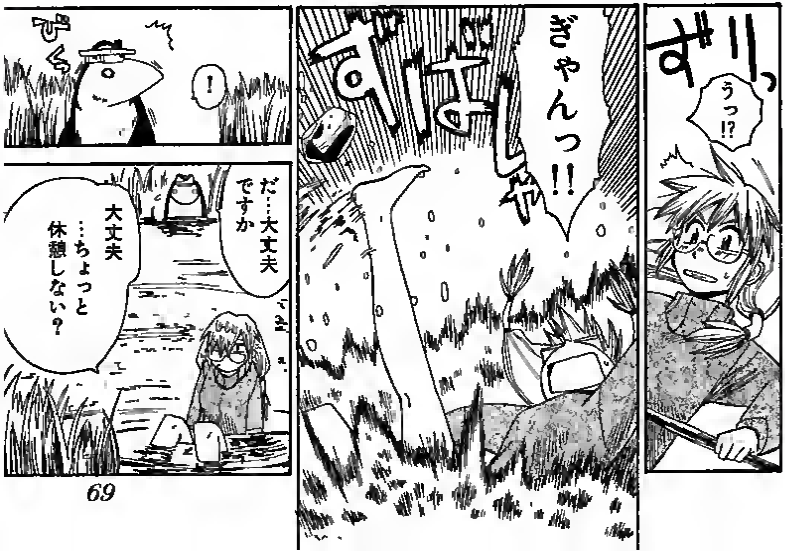
うぅっ
つめたー…
あけっこう
浅いのね



そう
「視える」けど…
ここで探してれば
なんとかなる
……かな？



ながぐつ
ぐんて
あっれ!?
たしかに
視えたと
思ったんだけど…
ペロっ


ずりっ
うっ!?
ぎゃんっ!!
ぴくっ
!
だ…大丈夫ですか
大丈夫
…ちょっと
休憩しない?

はー…
つかれた…

あの…
ありがとう
ございました
でも もう
いいです…
見つかりません…
うっうう…
む
なに云ってるの

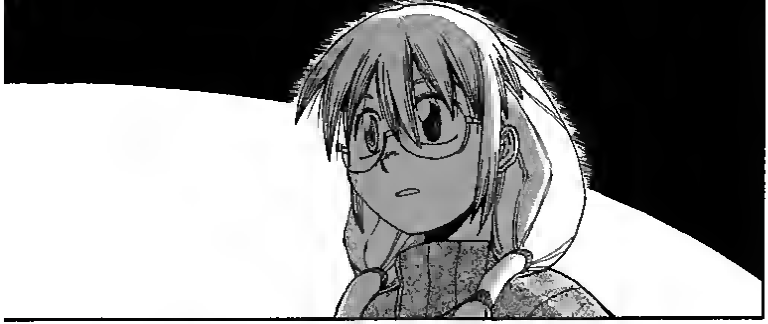
あんたの半身でしょ?
そんな簡単に
あきらめちゃ
ダメよ!
ホラ
行くわよっ
ばしゃ ばしゃ
もっかい
「視な」きゃ
あ…

あれ…「流れ」が変わってる？
あら！
山戸さん！
よるちゃんじゃない
な なにしてるのそんなカッコで…
その…
下駄をちょっと…
下駄？
……
わうっ
うわ!!
あっコラ!!
！

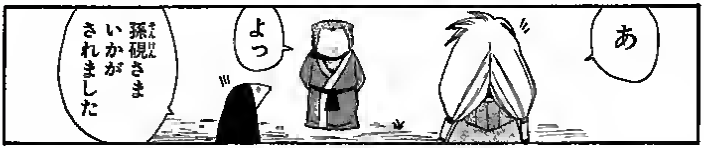
「流れ」がつながった！
ガッ
ばしゅ
ぜー
ぜー
…いったいなにが…
山戸さん家…
…てそりゃそうか…犬だし
ぱたぱた
足速いのねーはいクッ
はーはー
あっすすみません
はだし
ぬわっ!?
毛が！毛が!!
ダッ
よるちゃん！クックッ！

こら！
さっきの下駄出しなさい！
ゆらっ
まったくなんでそー拾ったもの小屋に持ちこむのかねアンタは
クゥーン
探してたのはこれかしら？
あっ
犬小屋にもう片方あったわよ
あの子が隠してたのね
ふっふっふ
は！…ぬれ損…
は——…
はいコレごめんねー

うっわ！
からん
からん
かっ
かわいー…
…この妖怪下駄
お礼もなしに
消えたのかしら…
からん
からん
…！



妖精眼は
二つで一つよ
……


あ
よっ
孫硯さま
いかが
されました

ん？
酔禅
その下駄は

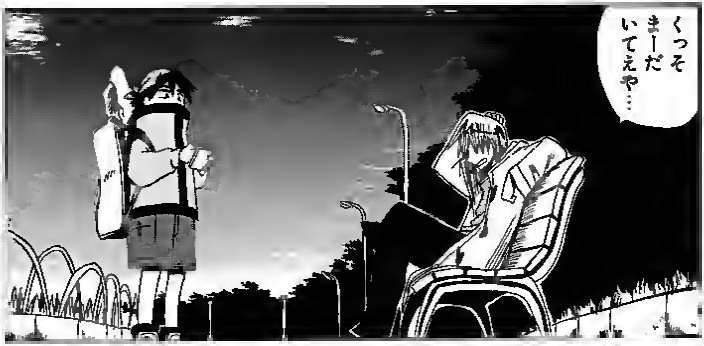
ふむ ちと帰りが
遅いので迎えにきた
息災か？

去年
吹雪が酔って
沼に落ちたときに
失くしたもの
ではないか
ぷしゅ
ぷしゅーん

ぷっ
……
まだ恨んどるか？
えっ…
吹雪のことじゃ
お主のためを思ってしたことじゃ許してやってくれんかの…
孫悟空さまもベン太くんも好きここは幸せになれそうな場所…
でもちょっとさみしい

お姉ちゃん
フブキさん
今
なにしてるの？

ズキズキ
うー


くっそきーだいてえや…

じゃあ本当にキサマが彼女の父親に術をかけたんじゃないんだな？
だから そう云ってんだろ
おれの目的は黒布だ嬢ちゃん本人をどうこうしようたあ思ってねぇ
そうか疑って悪かったな
こいつ…
できたぞ似顔絵

さっき話した彼女を連れ去った老人だ
どれ
ふん……とうとう出てきやがったな
じじい
！知ってるのか!?
この女児誘拐犯はおれの師匠法鉄だ
…!!左道の師というと…
石川尽正を倒した左道黒月真君

……!!
そこでだ
おまえに頼みが
あるんだが…
なんだ
!
石川尽正に
会わせてくれ
話がしたい
なにか情報を
もってるハズだ
じじいの
下手すりゃ…
居場所も
知ってる
かもしれん
助けたい
だろ?
雲井いろりを

ブロロロ
拝み屋 石川尽正か……どんな人物なんだろうな
左道 こっちだ少し歩くぞ
……こわ おかげさん 育てたんなよ。
ただいま
テレビ見てるのか
上がっていいぞ
ん
ガラ〜ん

ロリはじまりなのだ!!
テークラオ
亜
ばり
あなたが石川さん…ですか?
ぼりぼりぼり

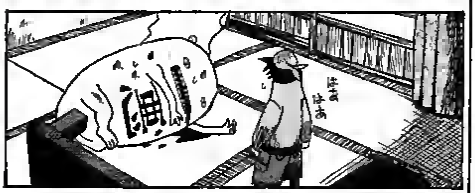
第十五話　石川さん家(ち)

…なワケないだろ!!
誰だキサマ!!!
ありゃ
答えてしんぜよう
拙者 かつて石川尽正に敗れし者
ぼぃぼぃ

もー ボコボコにされまして今日は その意趣返しにまいった
でも 留守だったので上がって待たせてもらったせんべいと茶ごちそうさまところでおまえこそ誰じゃい
だい

えっ?
ぎゃ――!?
ひとん家 勝手に上がりこみやがって!!

おれはその石川尽正の弟子だ!!
師匠と闘いたくばおれを倒してからにしてもらおうか!!
ドドド


はぁ はぁ

おとといきやがれ!!
ぐぐん
ピシ!!
留守か
んじゃちと待たせてもらおうか
ドッ
客に茶くらい出せよ
うるさい
たのもーっ!!
石川尽正ー
あの時の恨みを…

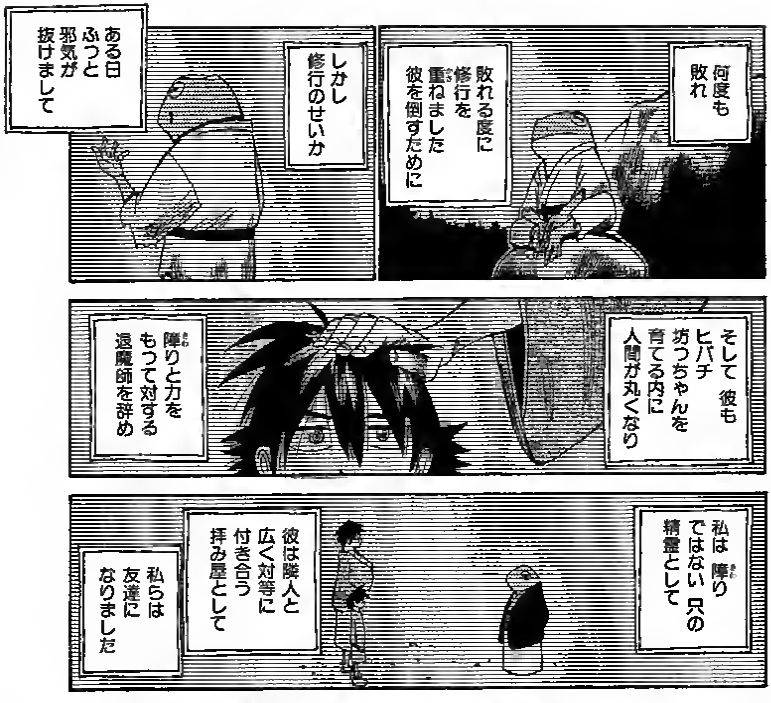
ピンポーン
なんだ この家…
む…
ヒバチは 取り込み中だし おれが 出るか……
ピンポーン
はい はいっと…
って おおっと! こっちもかい!!
あれ だれ?
石川さんは いますかの?
家主(やぬし)は いないが 復讐の件なら 代理が相手して くれっけど…
うりゃあああ
どおん

復讐？
はっはっは
そんなんとちゃいます
わたしゃ遊びにきたんです
すっ
じゃ 石川さん帰ってくるまで相手してもらえます？
はあ…
碁でも将棋でもTVゲームでもいけますよ
ぴちぴち
どういう人物なんだ石川尽正って……
ンーむ
ぴチ
王手飛車取り
ぴチ
うっ？
あいやーーー
2P WIN!!
強っ!!
次は何します？なんでもいいですよ
……
あの！…あんた石川さんとはどういう……
退魔師と悪霊
…最初はね

昔 彼に
手ひどく
やられましてね
当時 私は
気性の荒い獣りで
彼は闘鬼のような
風貌でした

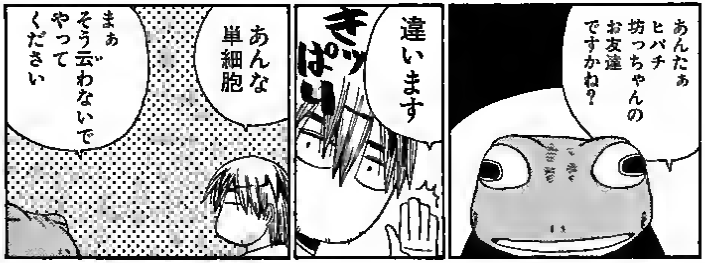
命からがら
逃げおおせた
ものの
その気性の
荒さから
復讐心を
たぎらせ
再び 彼に
挑みました

外の彼らの
ようにね
でぃおぉぉ
すぴぃん
そして
修行が
足りん


何度も
敗れ
敗れる度に
修行を
重ねました
彼を倒すために
しかし
修行のせいか
ある日
ふっと
邪気が
抜けまして
そして 彼も
ヒバチ
坊っちゃんを
育てる内に
人間が丸くなり
障りと力を
もって対する
退魔師を辞め
私は 障り
ではない 只の
精霊として
彼は隣人と
広く対等に
付き合う
拝み屋として
私らは
友達に
なりました
はあ…
そうだったん
ですか
ゴハンで
おっ 決着
つきますよ
おおおおッ!!!

乾坤点!!!

おおお!?
必殺技かよ おい!?
で


あんたぁ ヒバチ 坊っちゃんの お友達 ですかね?
違います
きっぱり
あんな 単細胞
まぁ そう云わないで やって ください

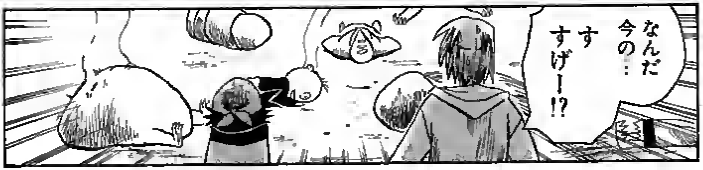
ああ見えて
昔は慎重な子
だったんですわ
慎重ぉ？
今 先んじて
行動に出るようなことを
しているのは
あの子なりの考え
あってのことでしょう
……
……
ふー…
やあ
坊っちゃん
あっ
どうも
おせーちゃ
手こずったん
じゃねえの
うるさい
おら――!! 石川――!!
出てこい――っ!!
ち
しつこい
奴らだ
うおっ!?
どす どす どす

ちょっと加勢してきます
おねがいします
？
うおっ!?

キサマらまとめて
アホ
ヤケになってんじゃ
かまうかー
おれは闘うぞ!!
おいおいおいムチャクチャだぞ
ちゃー
かかってこいや――!!!
このおバカ!!
ムニャ
おや…なんの騒ぎですか?
カミン
ん?
…あっ!?

どよっ!
あ!!
お前!
ん?
なんだ?
向こうで何かあっ…

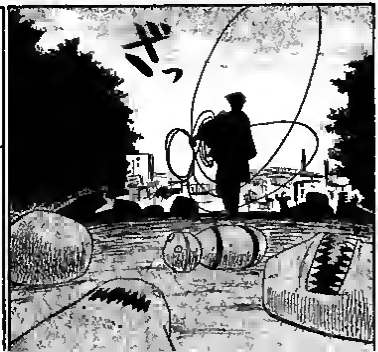
おっ
おお!?
ドド

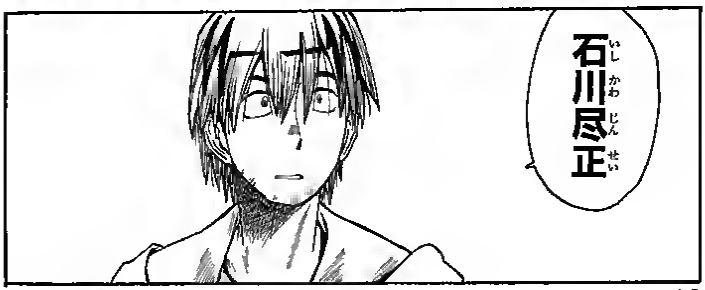

なんだ
今の…
すげー!?

パシ

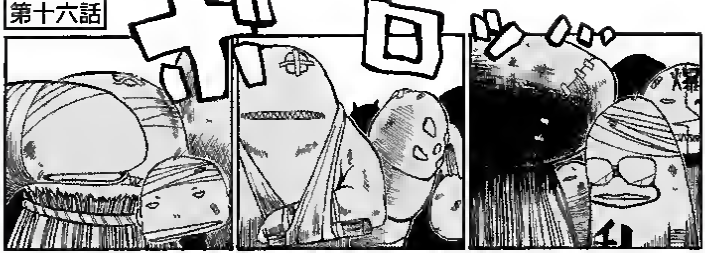
この人が…

師匠!!
!


ざっ



第十五話／完


ガロッ…

石川尽正!!
おぼえてろーっ!!
ごろごろ
やっぱ勝てねえよ…
あーそれいちたい

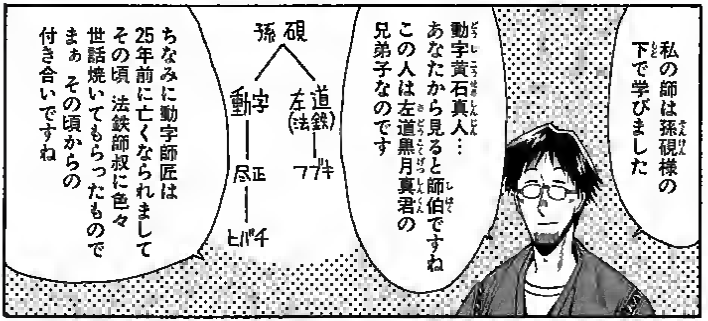
修業し直してまた来なさい!!
なるほど…こいつはなかなか大した人物らしいな…

ヒバチの師匠
っつーから
おれは
てっきり……
石川さん
ぬっ
先程
式神が
これを
あぁ
どうも
じゃ 私は
これで
今日は
タイミングが
悪かったようです
また日を改めて
えっ
わけ
知っていること
全てを話すことを
誓う。
石川五氣雄
…気は進みませんがね…

第十六話　妖精眼

おっと
その前に
礼を
隣り達の手当て
手伝ってくれて
ありがとう
ございました
フブキくん
いえ…
あれ おれ
名乗りましたっけ?

キミのことは
よく知ってますよ
私と法鉄師叔の
関係を聞きに
来たんでしょう?
師叔?


私の師は孫視様の
下で学びました
動字黄石真人…
あなたから見ると師伯ですね
この人は左道黒月真君の
兄弟子なのです
ちなみに動字師匠は
25年前に亡くなられまして
その頃 法鉄師叔に色々
世話焼いてもらったもので
まぁ その頃からの
付き合いですね
孫視
道(鉄)
左(法)
77代
動字
尽正
ヒバイ

世話…ね
でも 闘ったん
ですよね
ええ その辺の話を
今からします
本当は
私が話すべきじゃ
ないかもしれませんが…
先程の手紙で
許しを得ましたから…

ときに
ヒバチ
なぜ
ここに居る
おまえも関って
いるのか？
…関った
助けたい
女の子が
居るんだ
女の子…ね
なるほど「あの子」
か…
じゃあいいだろう
そこで聞いてなさい
あの晩のことを

どけ 尽正(じんせい)
私は 行かねばならん
どけません 師叔(しゅく)
私は あなたを止めなくてはならない
私の問題だ 出しゃばるな
あなたは冷静じゃない 考え直してください
……
押し通るぞ
ザッザッザッ
……

勝ち目がないのは
わかってましたが
無理を承知で
私は対峙しました
彼の
妖精眼と

……
妖精眼…!?

「彼らのルール」
その1
妖精眼は
双子で生まれる
師叔にも双子の
弟がいます
名を「軌鉄」
そこまでは
フブキくんも
知ってるんじゃ
ないかな

……
その「軌鉄」氏は
ある特殊霊能力者を
探していました
それは大量の霊気を
身の内に納める
器性の保有者

彼が その器性をもって
何を成すつもりかは
私は知りませんが
師叔によれば それは
「あってはならないこと」
だそうです そして
師叔は器を見つけました
それは
ヒバチと同じ年頃の
少女と聞いています
先程 助けたいと云ってた
子のことでしょう

少女をめぐり
師叔と「軌鉄」氏は
対立し
やがて 師叔は
直接対決を決意
しました
必殺の覚悟をもって
それを 私は
止めようとした
妖精眼の双子同士の
闘いにどちらか一方の
勝利などありえない
からです
「彼らのルール」
その2
双子は
二人で一つの命を
共有している
ゆえに「死」は
二人同時に訪れる
ふ…不毛です
わかってるん
でしょう?
ゴゴゴ
……

ザッ
ゴホッ
待っ…そ そうだ!!
師叔! 黒布を
使うんです
……
黒布を少女に
憑依させれば
器性を差し押さえる
こともできるし
彼女自身の
自衛手段にも
なる!!
そして
なにより黒布を
祓えるのは…
あなたの
愛弟子
フブキくん
だけです

知ってたんですね
…ええ
黒布のことは
以前 師叔から
聞いてましたから
とにかく
アレは とっさの
アイディアでした
キミを巻き込んだ
のは私です…
すみませんでした
…黒布は
左道にしか
就えない…？
いえ
とんでもない
こちらこそ
感謝してます
知らない内に
全てが終わる
ようなことに
ならなくて
それに充分な収穫だ
じじいが 何故でてきたかも
いろりを どこへ連れてったかも
わかった
ここへ来て
正解だった
キミなら…
ぐっ

きっと
フブキくんなら
なんとかしてくれる
と思ったんです

覚えて
ますよ
あの日の
彼を抱いてた
師叔の顔を

見ろ 尽正
私の弟子だ

この子に
私の全てをやる

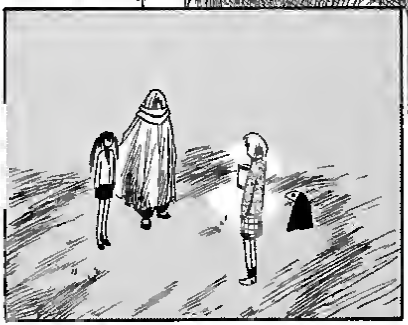
彼に…
あなたの運命を
託しましょう

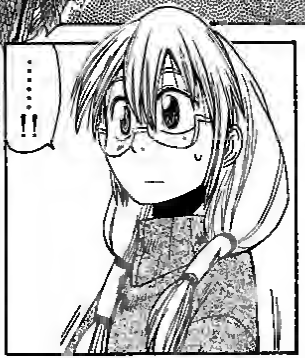
彼なら
きっと…

そうだな…
…悪くない
ふッ!!
…ッ!?
……
燃えるように
泥がうごく
喰らうように
肚をこう
…これが愛か

さて！
ドン
夕飯にしましょうか
フブキくん お急ぎでなければウチ泊まっていってくださいな
じゃ お言葉に甘えて…
おっおい！
急いでるだろ！
ああ？
だいじょぶだいじょぶ
雲井いろりは今 おれらが保護するよかよっぽど安全な場所に居るハズだ
ずずず
？

来客出迎えの使いを云い渡されたのはお主だけのハズ
なにゆえ我まで…
いや…
夜の山道って一人じゃ怖くて…
キサマと夜道を二人っきりで歩く我の気持ちは察してくれんのか
ボディーガードしてよ
こっちが護衛ほしいわ
ん？
おいあれじゃないか
あっそうかも…
月日





天封洞？
それっておまえの故郷か
そ
ああ ほれすぐそこだ
法鉄もいろりもそこに居る
しかし法鉄はなぜ…
んー？
そりゃ天封洞にゃ猿爺もいるし安全…
そうじゃない

なぜ今になって出て来たのか…
あー…そっちね
今や黒布はおれ以外の者にも祓えるようになったからな
？それはどういう…
後で話…
ん？

やあ…法鉄の切り札と
いろりの騎士(ナイト)くん
ここにいれば
会えると思って
待ってたよ
やっほ
フブキくん♪
元気ー?
!!
早速だが
二人には
ここで
消えてもらう
フブキは
用済み
だし…
小僧も
放っとくと
後でジャマ
されそう
だしな
こいつ
ら…!?
彼らは
〝軌鉄(きてつ)側〟だ
ヤな所で
会ったな
大体の事情は
知ってるようだが
ちょっとだけ
違うな
〝側(がわ)〟…と
云うよりは

第十七話　精霊道士 無限

何ッ!?
!!
妖精眼(ようせいがん)!!
"軌鉄"本人…!?
バカか!
法鉄の双子の弟にゃ
見えねーぞ!?
だが あの
妖精眼…!
えんら
下がれ
おれがやる
はーい
えんら!?
あの女…白煙の精霊
「えんらえんら」か!?
伝承に名を残す
本物の妖怪じゃねーか!!
ヒバチ
退くぞ!
勝てん!!
だれが
退くか!!
ああああ…

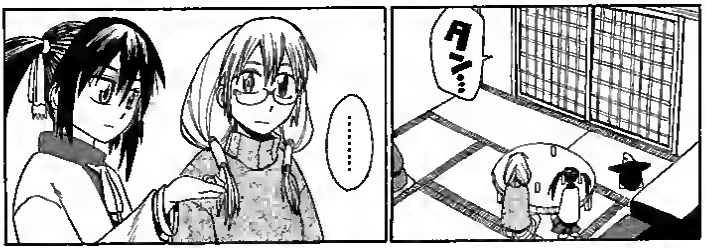
奴を倒せば終わりだろ!?
闘いは迅さだ!!
今 対した敵は
今 倒す!!
なんて おまえは
アホなんだよ
それ程までに!!
覚悟!
軌鉄!!
ふっ…
くくく…
軌鉄と呼ぶなよ…
その名は捨てたと云ったろう?
おれは変わったのさ
ベキ
ベキ
ベキ
ベキ
!!
おいおいおいおい
なんだそりゃ!?
今は…
こう名乗っている

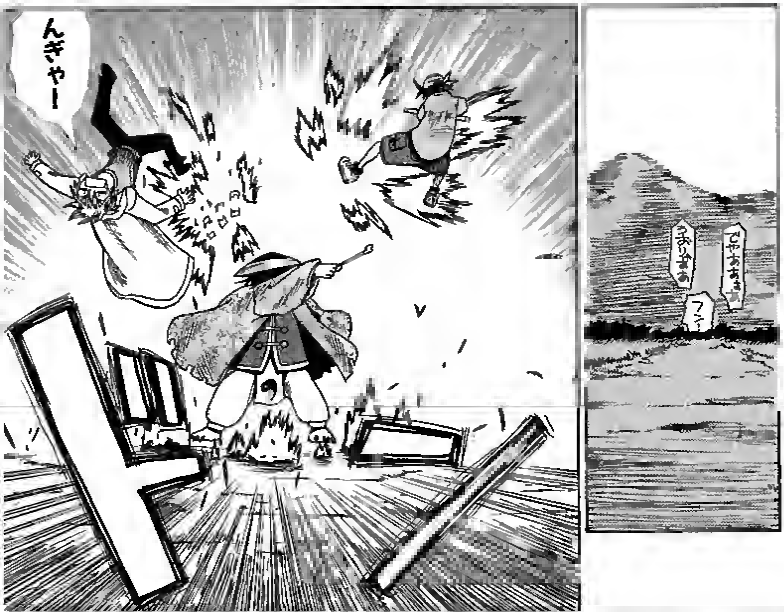
精霊道士！
無限!!!

うおっ
めっちゃめちゃ
強そ――
――っ!!!
仙
人

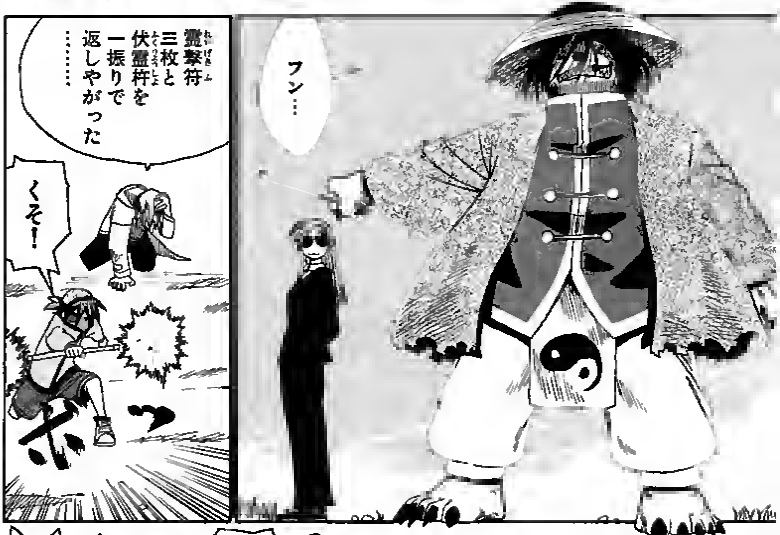
く…空気が重い…
二人とも昨日から全然しゃべらないし状況がさっぱり…
ていうかなんでいろりちゃんがここに…
ちら
……
すっ
おじいさん
私くろがねに名前を付けたこと
悪いとは思ってませんから

確かに
それで
事態は
変わったが
くろがねは
それで
キミに救われた
…だから
いい


……
タン…


んぎゃー
ぴゃあああ
ふっ

くっ
んごげー
ずべっ


霊撃符三枚と伏霊符を一振りで返しやがった……
くそ！
フン…

今 対した敵は今 倒す！
退けば時が経つ！
時を置けば迷う！
迷えば鈍る！鈍れば次はない!!
ゆえに今 倒す!!
今!!

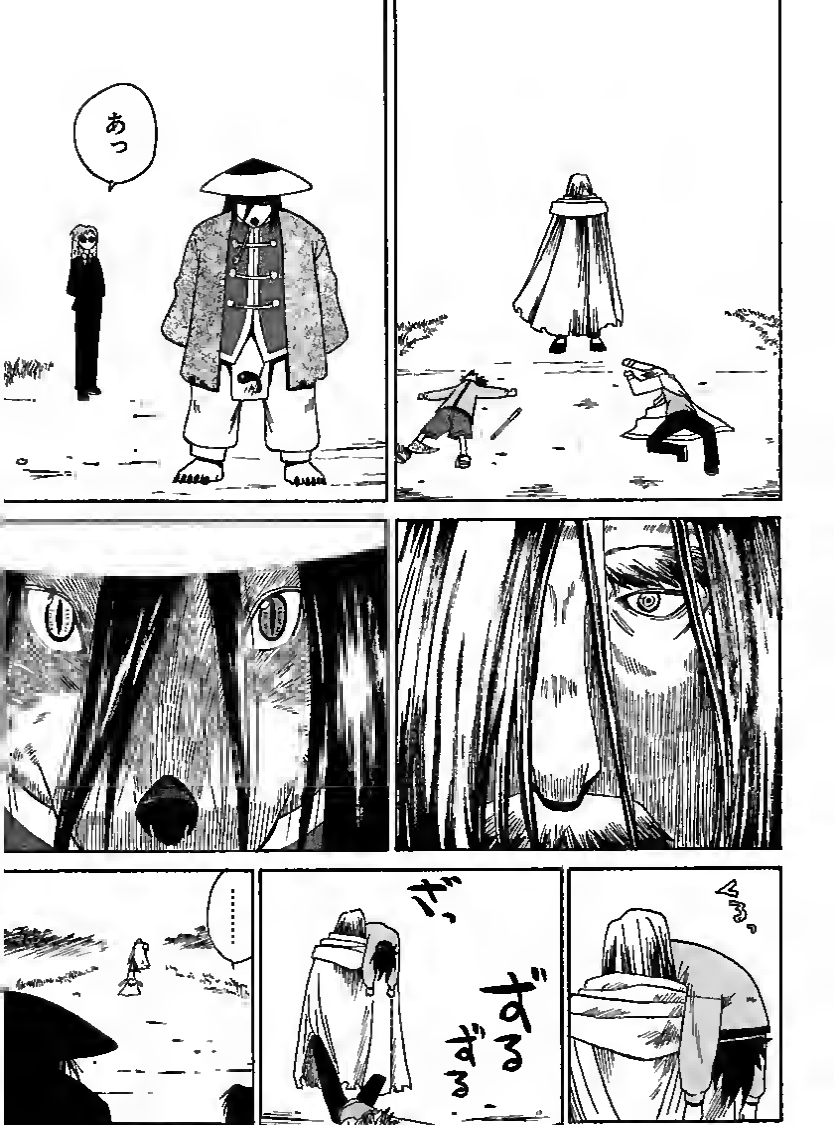
乾坤点!!!

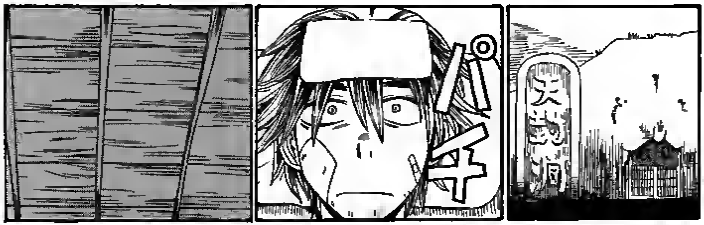
奮ッ!!
!

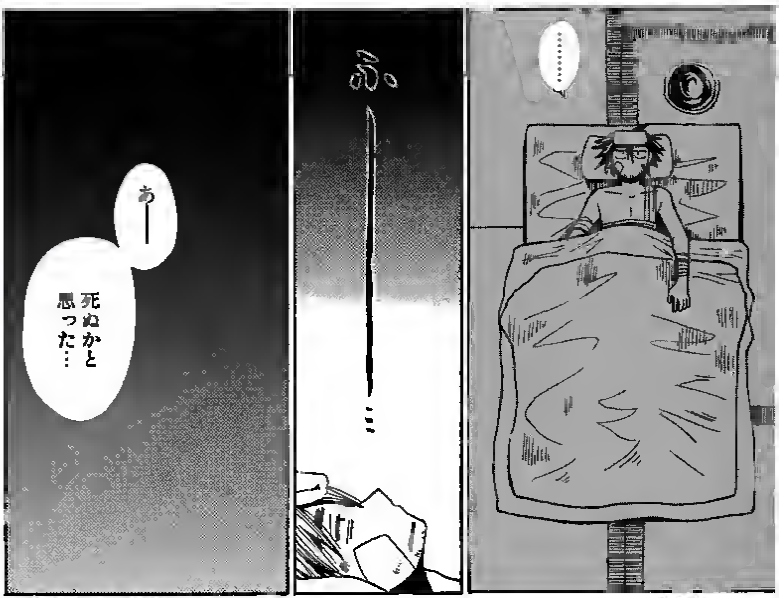
片腕
もらったー
結界
収束!!
爆!!!

ニヤッ
ヤッ

視界内の損壊物
任意修復
ペキ
ペキ
それが 我が
妖精眼の能力!!
……
ズルくない？
えー
あっ
待った！
タンマ
タンマ
タン…
へぎゃ!!
ゴッ
ドー


あっ
ふぅ。
ずるずる
……





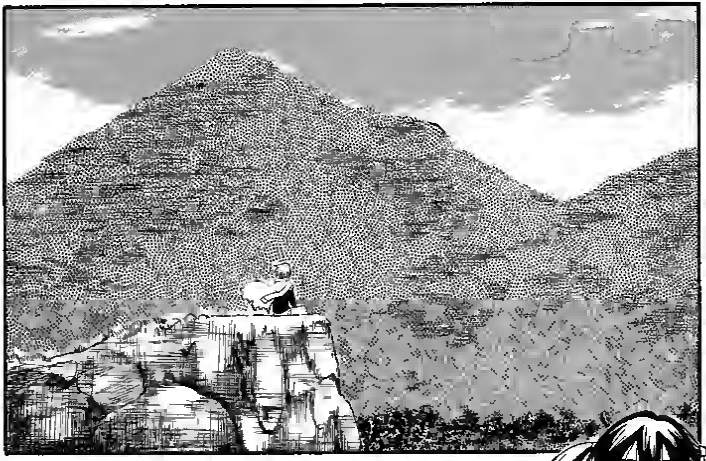
第十七話／完

第十八話
左道黒月真君(前編)

ドゥン
すーっ
薬湯だ
飲むがいい
ああ
すまねえ
……
おまえって
さあ…
男？ 女？
は？
性別なんぞ
ねえわ

ふーん…
おれぁよ、
…男なんだ
男の子なのさ
あんなのと闘ってせっかく死なずにすんだってのに
不覚にも
引き下がれねえって思っちまった
ふん
なーにカッコつけとるらしくもない
そーね
しかしまァ…
たまには…な

……



よるさんに
お礼 云った？
三日三晩
あなたの看病
してたのよ

や…なんか
機嫌
悪そーで…

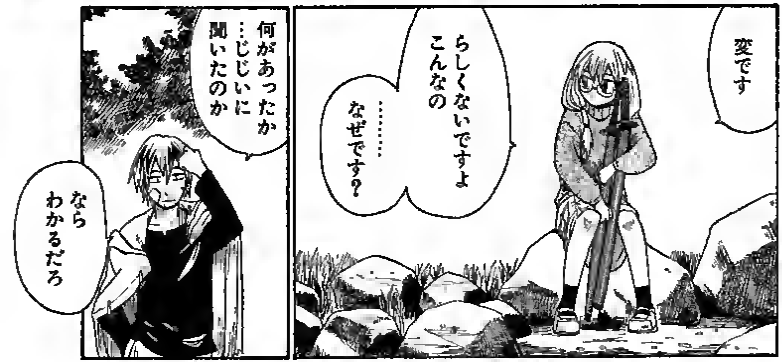
謝ん
なさいよ
どーせ あなたが
悪いんでしょう？

あら
起きてたの

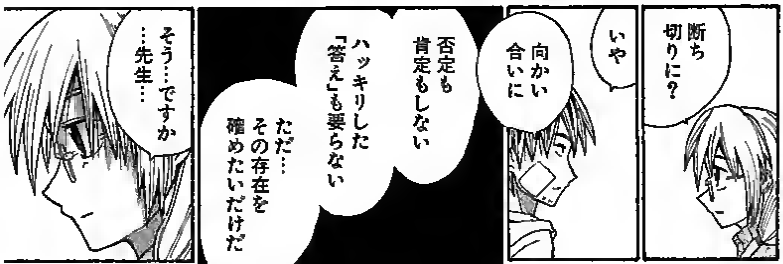
ただ嫌いなだけ
あんたが
別に
何か用か？
…いやにつっかかるな
んのガキ…
ヒバチの看病しろよ
おれに構ってねえで
しっ、
……そうするわ
あ
ちょっと待った
何
くろがねに名前つけてくれてありがとうな
…
なんでお礼なんか云うのよ

おじいさんに聞いたわ名前は個を縛る最強の呪だって
今のくろがねはあなたの分身ではなく誰にでもアクセスできるただの精霊！
私が名前をつけたからヒバチくんとあなたはそんな…
そんなケガを…
悪いなんて思ってないわよ！
でも…でも
ぽん
ヒバチには信念おれにゃ因縁があった
どの道奴とは会うことになってたさ
気に病むな
……
！

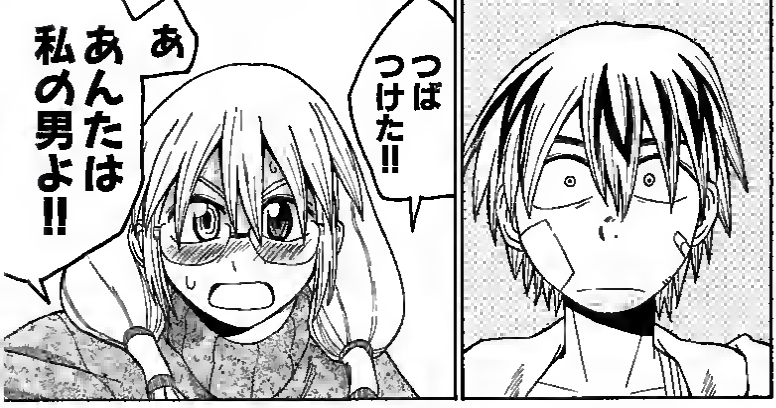
よる
…行くんですね…闘いに

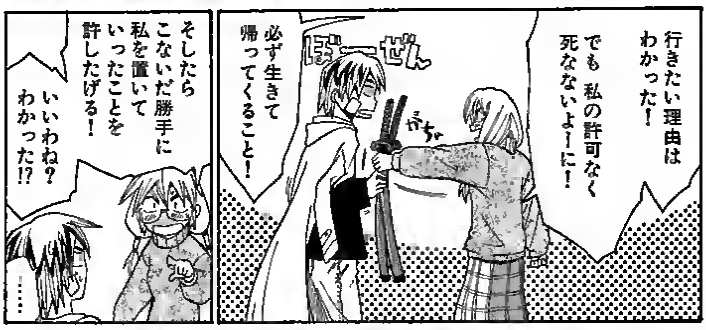

変です
らしくないですよこんなの
……なぜです？
何があったか…じじいに聞いたのか
ならわかるだろ

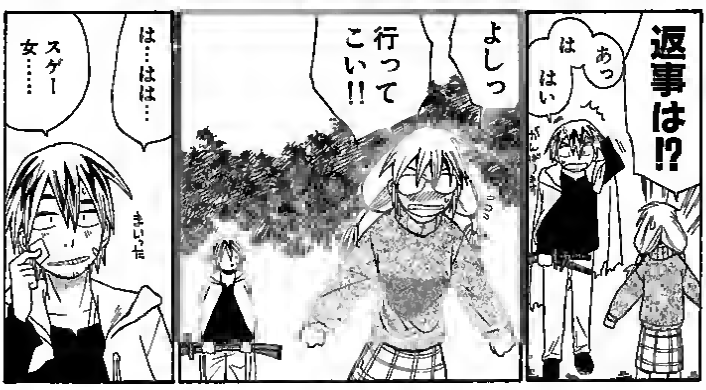
おれを呪縛る因縁がある
だからだ


断ち切りに？
いや
向かい合いに
否定も肯定もしない
ハッキリした「答え」も要らない
ただ…その存在を確めたいだけだ
そう…ですか…先生…

おまえの先生は猿爺だろ
おれじゃない
……
あそうじゃ師弟としてじゃなく
ざっ
女としての意見をわかりやすく伝えますよ！
!?
がっ


あ
あんたは
私の男よ!!
つば
つけた!!


行きたい理由は
わかった!
でも 私の許可なく
死なないよーに!
ぼーぜん
必ず生きて
帰ってくること!
そしたら
こないだ勝手に
私を置いて
いったことを
許したげる!
いいわね?
わかった!?
……


返事は!?
あっ
はい
はい
よしっ
行って
こい!!
は…はは…
スゲー
女……
きいっ

己が身を隣人と化す
変化尸解の秘術
"精霊輪廻"
フブキは これを仕損じ
くろがねを生みだす
ことになった…が
かつて
これに
成功した
者がいる
我が弟
軌鉄だ
精霊道士と
なった奴の霊力は
まさにケタ外れだ
…だが
フブキなら
奴を殺して
くれるだろう
私の望みの
ままに
え…
でも
それじゃ 法鉄
さんも…死…
フブキならやる
そう「作った」
昔から…
いつでも私を
殺せるように

フブキこそ我が最高傑作!!

おまえ…自分の状態わかってんだろうな
ああ
チャクラ損傷で霊力制御不全
はぁ はぁ
つまりリミッターなしの特大の一撃が撃てるってことだ
反動で体がバラバラになるほどのもんしか撃てねえってことでもある
で？
止めるか？おれを

止めるか!!
だが おれの指示に従ってもらうぞ
それに許可できるのは一発までだ
一発撃ったら後は もう邪魔になんねートコでぶっ倒れてろや

ふん
上等!!
一撃で充分だ

じゃ 道々作戦でも考えるか
奴等はどこに？
ずっとあっち
式神で果し状送っといた
今時果し状…

ざっ
わっ
いろりちゃ…
どうも
くろがねが落ちついたので封印輪をはずしました
追えますよ
一緒に行きませんか？…見届けに
ただ待っててもつまんねぇだろ？
……
行きますよ離さないでください
きゅっ
腰細…

うっ

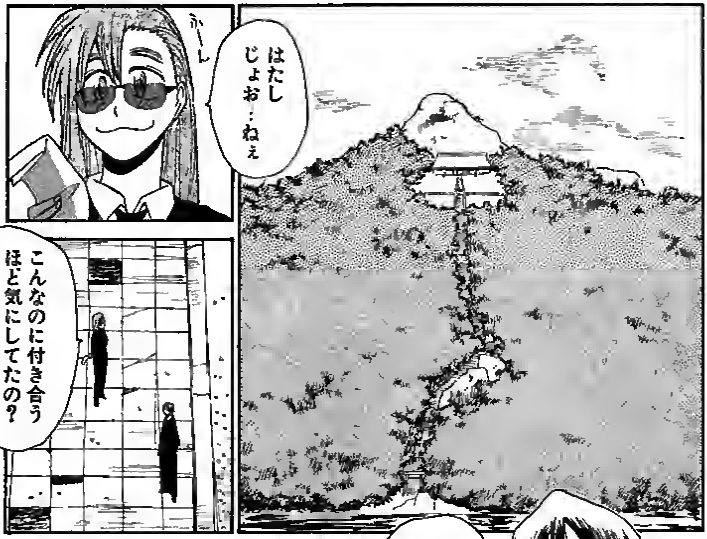
ひゃあ

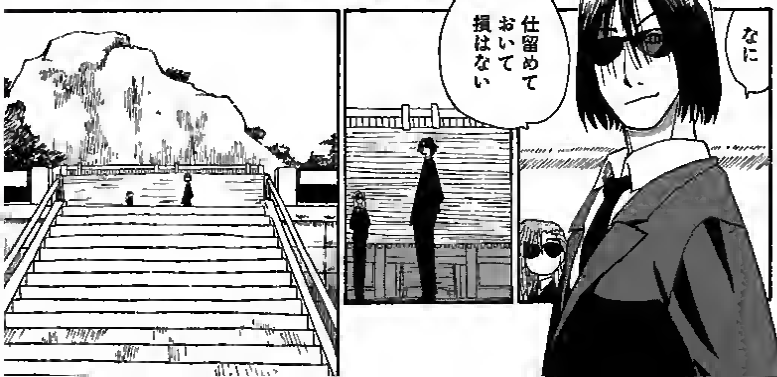
あ

よー高く跳ぶもんじゃのー

では私もそろそろ…

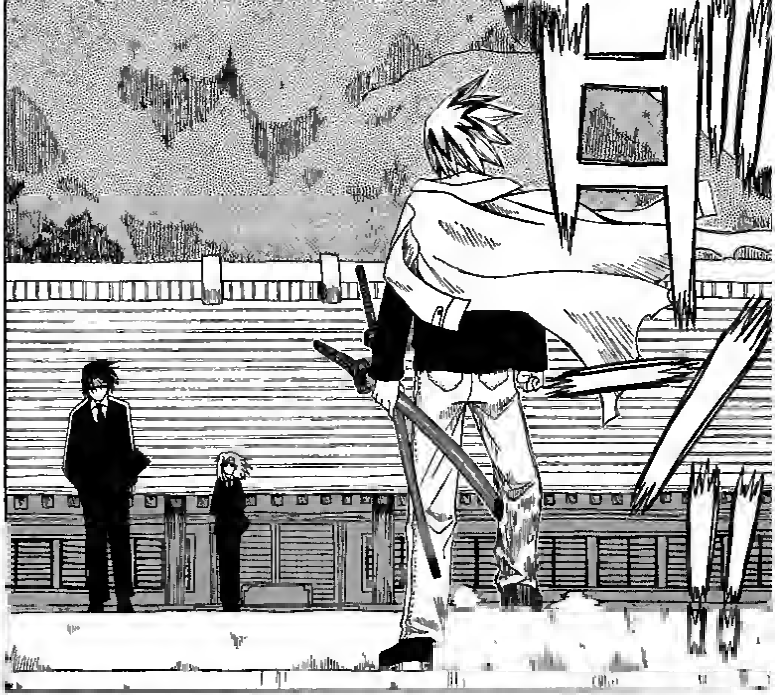
ウム
生きとったら晩メシまでに帰ってこいよ
ざっ

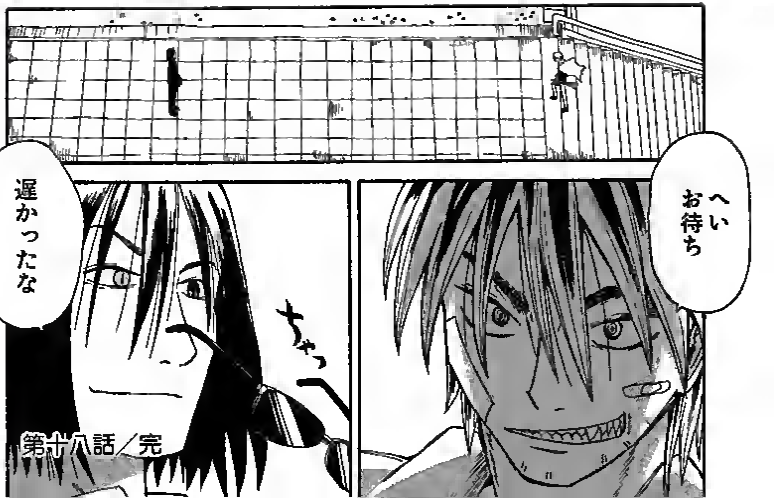

はたしじょお…ねぇ
ふーん
こんなのに付き合うほど気にしてたの？あの二人のこと


仕留めておいて損はない
なに

ナリ
叫び!
いいのか?
そんな単純なもので…
作戦と呼ぶには
あまりにも……

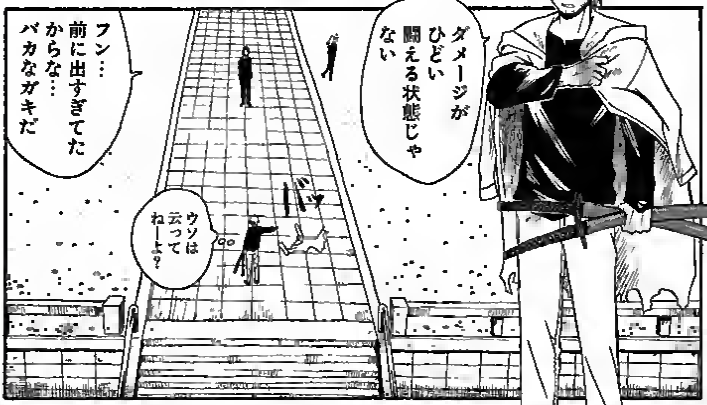
いいのさ
変に奇をてらうより
真の狙いを悟られ
づらかろう
行くぞ!!!





第十八話／完

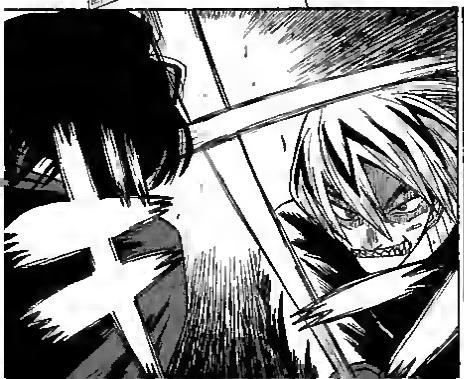
…？
一人だと？
小僧はどうした？


ダメージがひどい
闘える状態じゃない
フン…
前に出すぎてたからな…
バカなガキだ
ウソは云ってねーよ？

だが それで命拾いしたとも云えるが
ち…
なんとでも云え…
バカなのはわかってるから 下手に頭使うのはやめたんだ
だが今は

あの男がいる
シャクだがな…
おれを導け！
左道!!
ひゅっ
!?
ピッ
これは…
紅蒼山？
なんのマネだ
天封洞の
最強兵器
妖刀白黒川と
紅蒼山
白黒川は法鉄が
紅蒼山は あんたが
打ったものらしいな
チャンバラ
しようぜ？
妖刀で
これ
ほー……
なかなか
酔興じゃ
ないか…

第十九話　左道黒月真君(中編)



ダッ
ダン
！
！
ふむ
これは
幸運
とっとと終らせて
いろりを頂くと
するか
フブキさん!!

んのっ…
ぐっ！
くそっ！
なんつー霊力差だ
圧力かけられる
だけで キズが
開く…!!
もう諦めろ
先程から同じ事の
くりかえし
ではないか
おれは
あきたぞ
やはり
手ぬるか…!
やるか…!
えんらえんらが
いつ乱入してこない
とも限らんし…

なにより
トン
トン
あの二人を
守らねば!!
ザワ…
!?
合図!

乾坤

星!!

ドドド

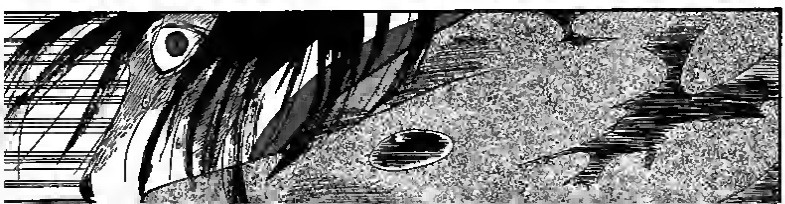
ズドン
うおおお!?
なんだ
この力は!!

ヒバチ
くん!!

「これほどの
霊力があろうと
所詮は肉体を持った
生き物だ
攻撃さえ届けば
ちゃんとダメージを
与えられる
奴の再生能力の"隙"に
致命傷を
ねじこんでやるのだ
ムン」
「隙だと!?」
「だから
はさみ打ちにする
妖精眼の視線が
届かない回復不能の
弱点を
奴は おれたちの
どちらかに見せる
ハズだ!」
「弱点!!
それは!?」

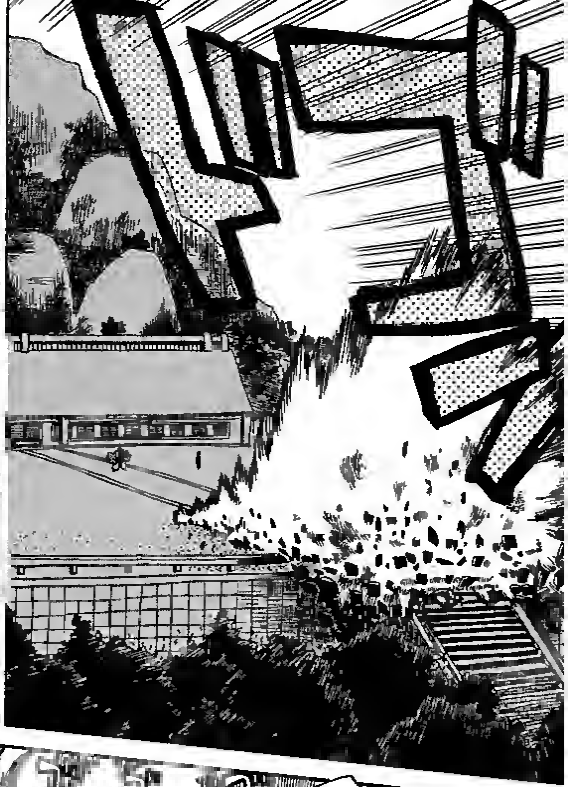
それは…
ゴゴゴゴゴゴ
ピク

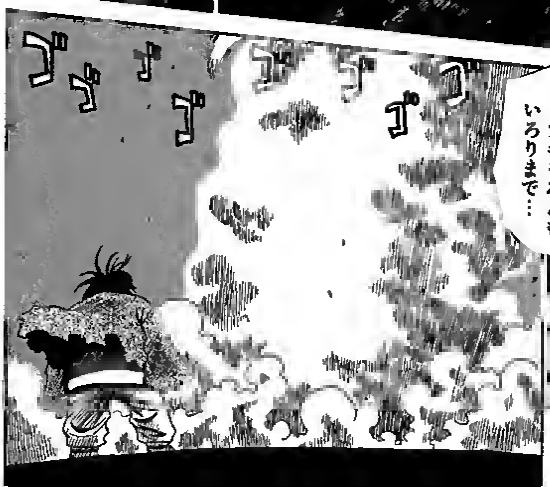
背中!!



!!
ゆ
鏡!!
はい
ざーんねん♪
うっ

しまっ…
!
!!
なにボーッとしてる!!




ゴゴゴゴゴゴ

くっ…
これではフブキもろともいろりまで…

ッ!!
――はッ!!
!
くッ!!

なッ…!?

はははは
ははははは!!

精霊憑依!!
これで互角だ精霊道士!!!
小賢しい!!!
ウォオオオオ!!

ドドド

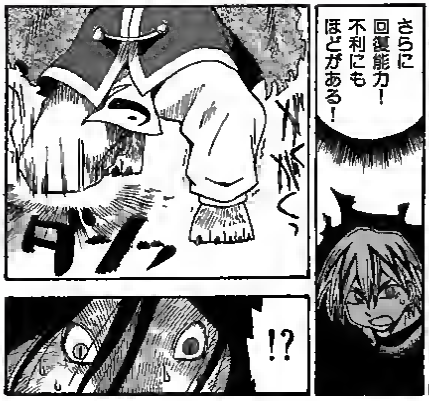
第二十話　左道黒月真君(後編)

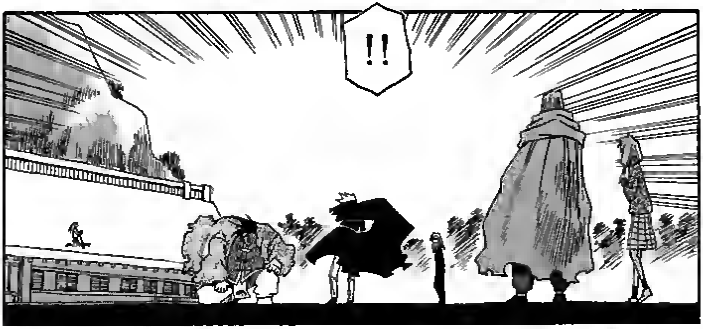
悪いな
くろがね！
付き
合わして
いろりを
守るため
だからな
それにしても
互角は
云いすぎだ
そう？
ひひひ
霊力差は
生身の人間と
妖精眼の差までは
埋まっていない
奴の方がまだ大分
上だ
さらに奴は
法鉄と同い年
経験値も大差！
おまけに
こっちは
時間制限付き!!
黒布の出力に
おまえの肉体は
数分と耐えられ
ない！
力！
技術！
スタミナ！
こんな
接近して
やりあって
勝てる要素は
ひとつもない!!

そう…でしょうか…
ああ…
何を血迷っている…
フブキ！
大丈夫…
…だと思いますよ
い…ろり？
ヒバチくん！
大丈夫!?
う…
くうがね…
ドドド

あの人は勝ちます!!
ふーッ!!
かっ…
なんの…
まだまだ!

ぬん！


さらに
回復能力！
不利にも
ほどがある！
ダンッ
!?


!!

やっと効いてきたかバケモンめ…
どういうことだ？
ありがとよくろがねおまえのおかげでここまで持った
な…なんだ身体が…!?
背中の傷を妖精眼でふさいだ時
おまえは体内に思いっ切り巻き込んだのさ
白黒川に塗りこんだ

しびれ薬を
に
ガー

神経毒ってやつ
なかなか効いて
こないから
焦ったぜ
なッ!?
接近戦で
ひっかきまわして
血圧上げてやって
やっとだもんな
ど…
毒!?
……
おお
……!
ほら
あの人は
はさみ打ちの
真の狙いは
コレ…!?
まずい
わ……!
道術合戦も
ちゃんばらも
邪仙にゃ
似合わ
ねーだろ?

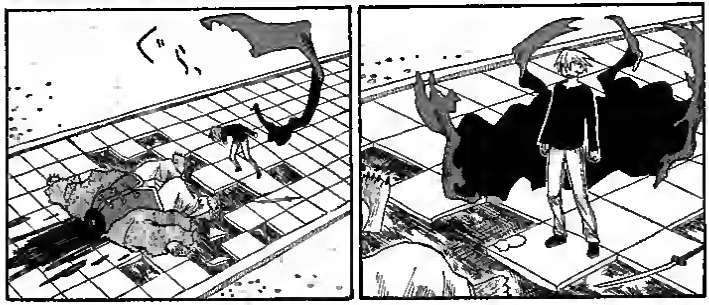
正道にあらざる者
ゆえに左道
邪仙
左道黒月真君!!
がっ
そのかわいくねーワンコの首もらいうけるぜ!

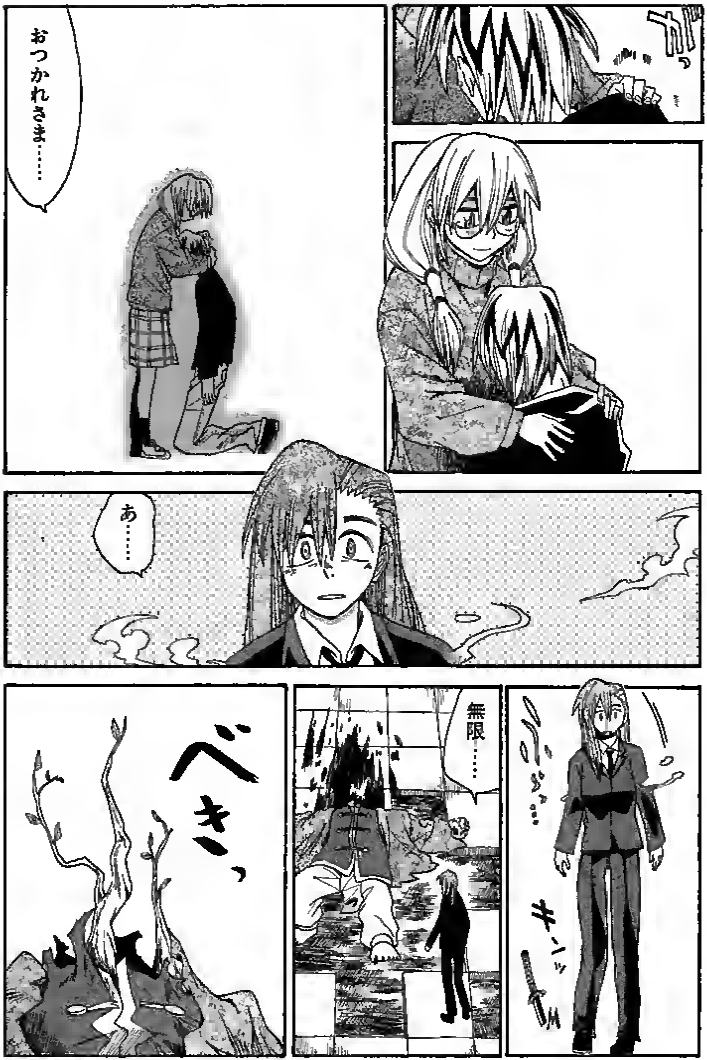
ここまでか…
鈴……
ガキ!!
この男は殺させない!!
勢いやあああ

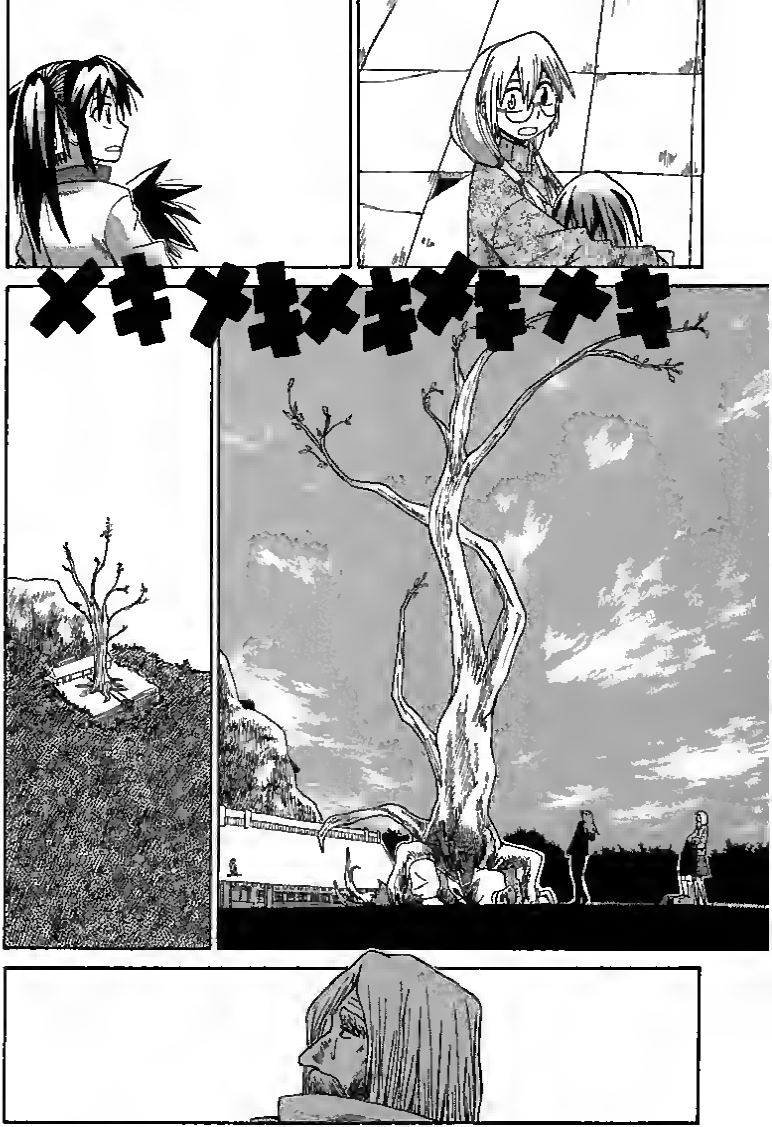
去って
!
ドサッ

封印完了
無限を倒し
完全絶命前に封印
法鉄(しゃく)も死なさず
全て…決着!!
どおだらおらおらお

時間
切れだ
オオオオ


ぐら


おつかれさま……
あ……
無限……
ぺきっ


メキメキメキメキ

世話になったな
もう歩けるし 後は
自宅で養生する

私も帰ります
おじいさんが父さんにかけた
予言れの呪いも解けてる頃
と聞いたので

元気でね
ヒバチくん
いろりちゃん

おめーは若いから
チャクラの損傷も
一、二年ありゃ
治るだろーが
その間はムリ
すんなよ
石川さんに
よろしくな

ああ

治ったら
また来る
おまえを
倒しにな

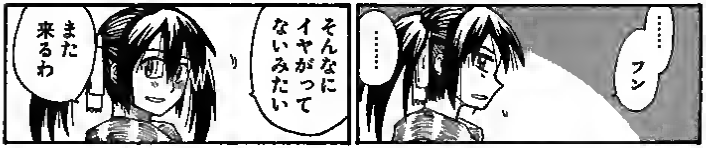
カンペン
しろよ…

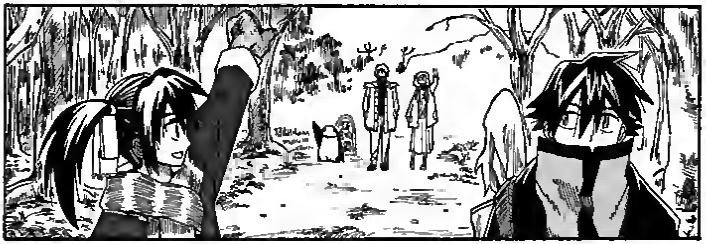
くろがね

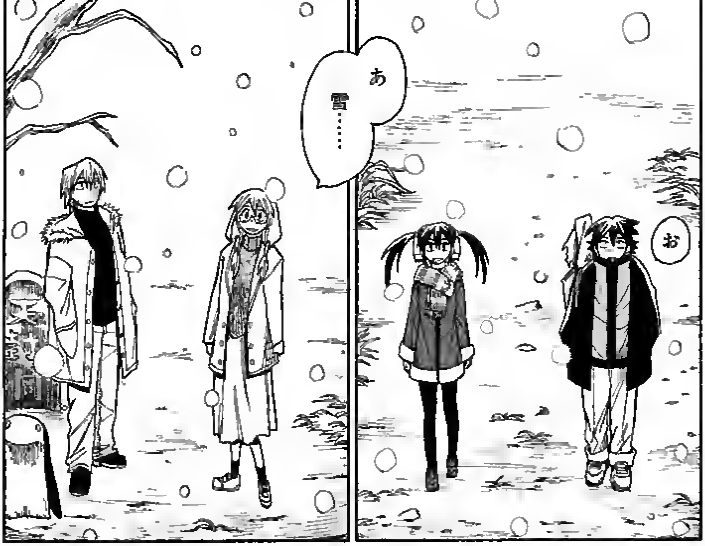
んだよ

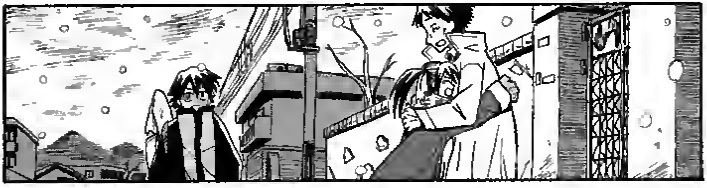
やっとおまえを
どうしたいか
わかった
取り込んで
力を手に入れようとか
倒して超えようとか
じゃなく
ただ
正面から向き合い
たいんだ
…それで
おれは納得できる
気がする
飲み 過去を
噛えるもよし
呑み 過去を
受け入れるもよし
いずれにせよ
己の納得できる手を

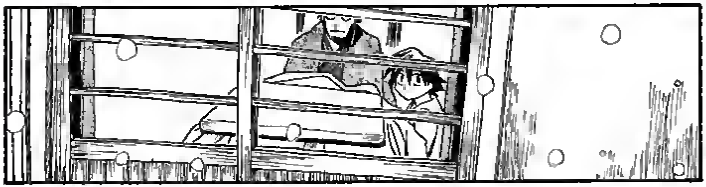
くろがね
友達になろう

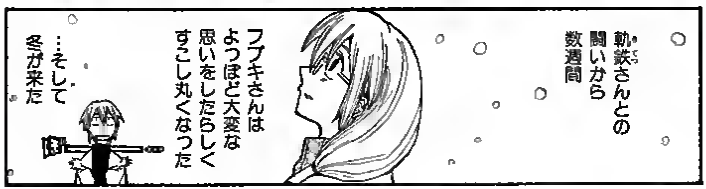

……フン
……
そんなに
イヤがって
ないみたい
また
来るわ



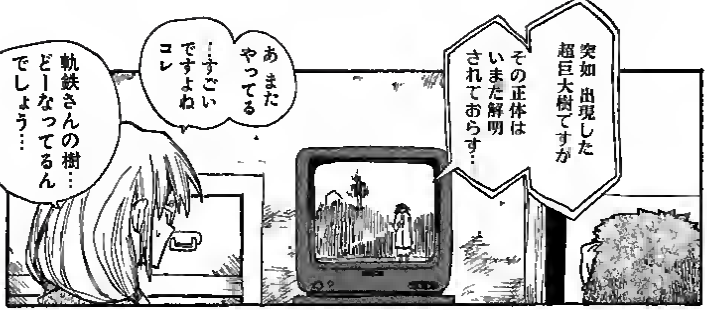

あ
雪……
お

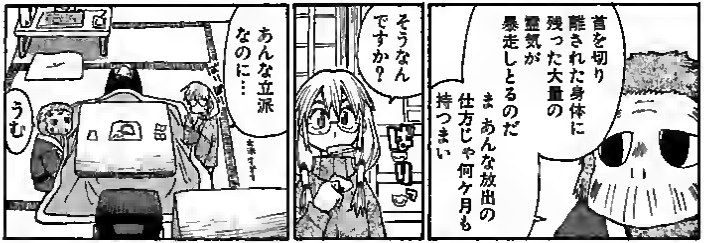


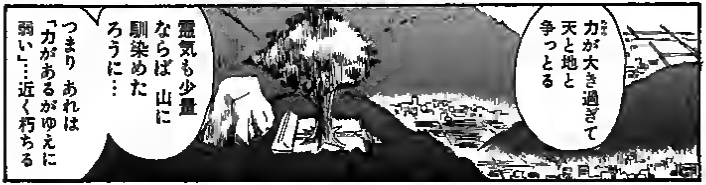



軌跡さんとの
闘いから
数週間
フブキさんは
よっぽど大変な
思いをしたらしく
すこし丸くなった
…そして
冬が来た

最終話

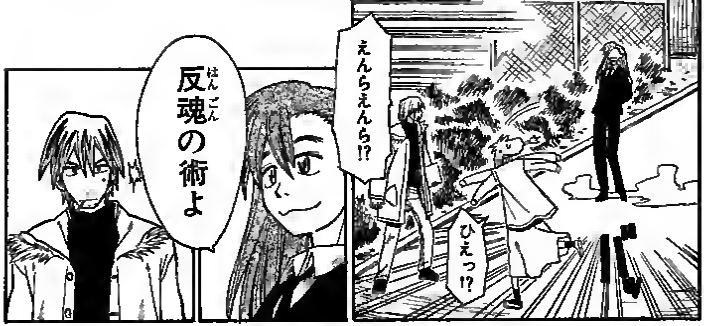

突如 出現した
超巨大樹ですが
その正体は
いまだ解明
されておらず…
あまた
やってる
…すごい
ですよね
コレ
軌鉄さんの樹…
どーなってるん
でしょう…

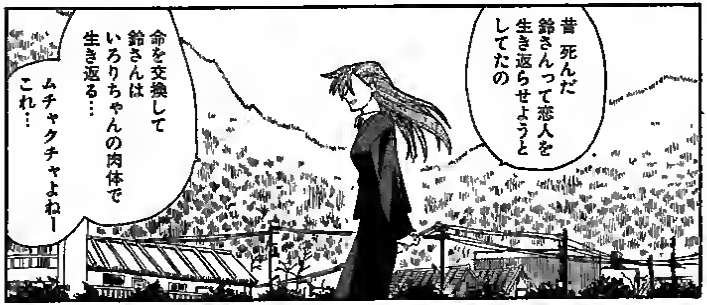

首を切り
断たれた身体に
残った大量の
霊気が
暴走しとるのだ
まぁあんな放出の
仕方じゃ何ケ月も
持つまい
そうなん
ですか？
あんな立派
なのに…
うむ


力が大き過ぎて
天と地と
争っとる
霊気も少量
ならば 山に
馴染めた
ろうに…
つまり あれは
「力があるがゆえに
弱い」…近く朽ちる

わかった
よーな
わからない
よーな…
あ
おでかけ
ですか？
ああ
ふもとの
本屋まで
私も
行きます

あの…
軌跡さんって
いろりちゃんを
使って 何を
しようとしてたん
でしょう…
さあ…？
さぁ…って
気にならない
んですか？
……
あんな…
大変なメに
あったのに…
気には
なる…が
もう
過ぎたこと
だしな
教えたげ
よっか？
『ニヤ』
ダッ


えんらえんら!?
ひぇっ!?
反魂の術よ


昔 死んだ鈴さんって恋人を生き返らせようとしてたの
命を交換して鈴さんはいろりちゃんの肉体で生き返る…
ムチャクチャよねー これ…

なんの用だ…
復讐か?

違うわよお
かぜさんくさ…

あのねー フブキくんに憑きたいんだけど

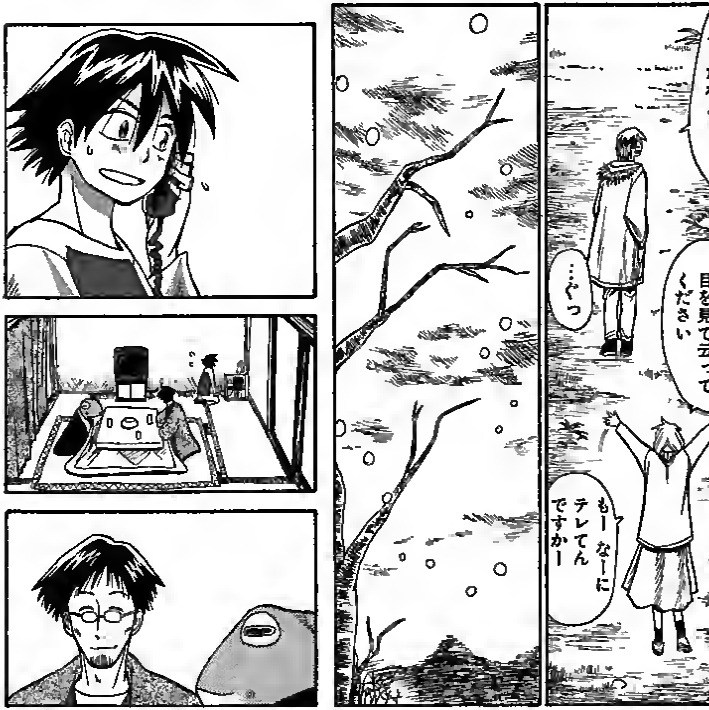
は?
いやー 喫煙者に取り憑いてないと落ち着かなくて

こう
この人は私のだからダメですッ!!
ガシッ

あらー
残念…
他を当たるわ
……
法鉄も
喫うけど…
やーよ
無限思い出し
ちゃうじゃない…
じゃーね
あっ
あの
あなたと
軌鉄さんは
……
あでも
恋人 生き返
らせるって…
えーと
…恋人…か

そういや
お姉さんの件は
どうなった？
妖精眼の…
今 霊気の波長を
ズラす練習をしてます
それができれば会っても
問題ないらしいんですが…
私 ヘタクソ
で…
霊気の
コントロール
か…それなら
おれでも
教えられるな
え？
春になったら
おれぁ また
霊穴めぐりに
出かけて
ダラダラする
一緒にくるか？
……
いやです

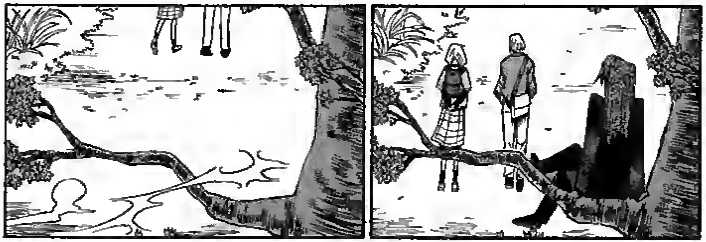
でも「来てほしい」って云ってくれたら行ったげます!!
何ッ!?
い 云わせる気かキサマ!
どべーん
なんてえろい奴だ!!
えっ えろっ…!?
ポーン

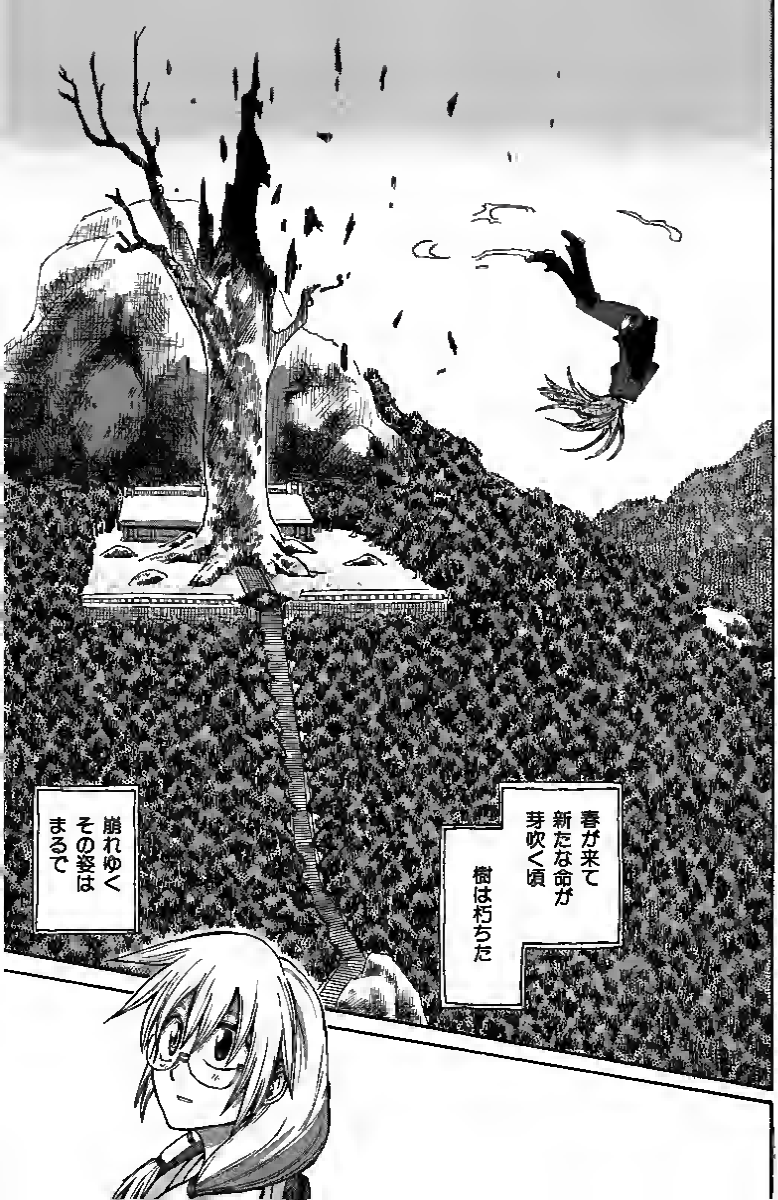

そりゃー…来てほしいっちゃー
そーだがよ…
こっち見て! 目を見て云ってください
…くっ
もーなーにテレてんですかー

!
なぜ殺してはくれなかった
憎くはないのか私が
憎いさ
でもいつまでも子供じゃねえんだ
悪いけどあんたの思い通りにはなれないよ

ペロ
大きくなった
フブキ
お世話になりました

師匠!!




春が来て
新たな命が
芽吹く頃
樹は朽ちた
崩れゆく
その姿は
まるで

春の芽吹きを
祝福してる
みたい
これからも
生き続ける者を
あざ笑っている
ようだ
最終話／完

eBOOKで
快適読書生活

http://www.ebookjapan.jp

電子書籍版

散人左道
2

水上悟志

© 水上悟志 / 少年画報社

Digital Distributor
eBook Initiative Japan Co.,Ltd.
http://www.ebookjapan.jp